

平成21年度

上富良野町教育委員会点検・評価報告書

平成22年9月

上 富 良 野 町 教 育 委 員 会

## 目 次

I	教育委員会点検・評価の概要	1
II	教育委員会の活動状況	3
	(1) 教育委員会の活動	3
	(2) 教育委員会議	5
	(3) 学校訪問、各種行事、研修会等への参加	10
	(4) 教育委員会議等の評価	11
III	「教育行政執行方針」に基づく点検・評価	12
	(1) 学校教育班関係	12
	(2) 社会教育班関係	36
IV	教育行政評価委員の意見	70
資料 1	上富良野町教育委員会教育行政評価委員会要綱	72
資料 2	上富良野町教育委員会教育行政評価委員会委員の構成	73
資料 3	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	74
資料 4	平成 21 年度教育行政執行方針	75

## I 教育委員会点検・評価報告の概要

### 1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から、教育委員会の責任体制の明確化を図るため、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を公表するものであります。

### 2 目的

地教行法第 27 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価し、効果的な教育行政の推進と行政評価の透明性を図り、町民への説明責任を果たすことを目的としております。

### 3 点検・評価の内容

平成 21 年第 1 回定例町議会において、「平成 21 年度教育行政執行方針」に示した事業の実績をまとめ、それぞれの目標に照らし合わせた成果を基に内部評価を行い、学識経験者の知見を活用した教育行政評価委員会からの意見を聴取し、今後の課題や対応策をまとめ、教育委員会の点検・評価報告書を作成し、議会に提出・公開し、町民に対しての公表も行います。

なお、平成 20 年度については、試行的に行政評価を行いました~~が~~、本年度から本格的に実施~~して~~います。

### 4 議会への報告

議会への報告については、「上富良野町教育委員会点検・評価報告書」として、議会に提出し、その後に公表いたします。

### 5 町民への公表

町民への公表に関しては、議会に提出後に町役場の情報コーナーに「上富良野町教育委員会点検・評価報告書」を置き、閲覧できるようにいたします。

### 6 評価の手法

- ① 評価にあたっての着眼点
  - ・教育委員会の活動状況について
  - ・平成 21 年度教育行政執行方針に示した事務事業について

- ② 評価対象事業

平成 21 年度に実施した事業の内、教育委員会が所管する 5 6 の事業を対象としました。

### ③ 評価方法

教育行政点検評価表により、「事業名（評価項目）」・「細事業名（細項目）」・「事業の目的」・「推進目標」・「事業の概要」・「事業年度」・「事業費」・「検証内容（必要性・有効性・費用対効果・方向性）」・「評価（達成度・効果度）」・「今後の課題」・「改善策」を明らかにし、必要性・有効性・効果性などを各分野別において評価いたしました。

これにより、問題点を明らかにし、課題や具体的な改善内容を自ら見出し、今後の方向性を検討するとともに、教育委員会が目指す方針に沿って教育行政が執行されているかの達成度・効果度に着目して総合評価を行いました。

### ④ 評価結果（事務事業評価）

平成 21 年度の点検・評価の結果について、下記の評価基準 A～D の 4 段階で集計を行いました。

第 1 表 行政評価（事務事業評価 達成度）

	A	B	C	D
件数	18	35	3	
構成比 (%)	32.1	62.5	5.4	

(A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する)

第 2 表 行政評価（事務事業評価 効果度）

	A	B	C	D
件数	34	19	3	
構成比 (%)	60.7	33.9	5.4	

(A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する)

第 3 表 総合評価

	A	B	C	D
件数	27	29		
構成比 (%)	48.2	51.8		

(A：維持・拡大 B：工夫・改善 C：縮小 D：整理統合・廃止)

## II 教育委員会の活動状況

平成21年度の教育委員会の活動について「教育委員会議」「学校訪問」「研修」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行った。

### (1) 教育委員会の活動

教育委員会議については、毎月1回を原則に開催し、必要に応じて開催した。また、教育委員会議を開催する都度に協議会を開催し、教育に関する様々な案件について協議した。教育委員会議については、開催予定について告示し、会議の内容等については役場情報コーナーに提示するとともにホームページにも掲載している。

以下、平成21年度の主な活動を示し、それぞれの活動内容について報告する。

#### 平成21年度教育委員会活動一覧

月 日 (曜日)	活 動 内 容
4月 3日 (金)	平成21年度上富良野町教職員着任式出席
4月 6日 (月)	町内小中学校入学式出席
4月 8日 (水)	道立上富良野高等学校入学式、高田幼稚園入園式出席
4月22日 (水)	平成21年第4回教育委員会議
4月30日 (木)	上川管内教育委員会連合会総会・委員研修会
5月21日 (木)	平成21年第5回教育委員会議
5月24日 (日)	上富良野小学校運動会出席
5月25日 (月)	道立上富良野高等学校教育振興会総会出席
5月30日 (土)	上富良野中学校体育大会出席
6月 6日 (土)	東中小・中学校運動会出席
	上富良野西小学校運動会出席
6月13日 (土)	江幌小学校運動会出席
6月16・17日 (火・水)	町定例町議会出席
6月24日 (水)	平成21年第6回教育委員会議
7月 9日 (木)	第46回北海道市町村教育委員研修会
7月16・17日 (木・金)	平成21年度上川管内教育委員会連合会委員長部会研修会
7月21日 (火)	平成21年第7回教育委員会議
7月27日 (月)	臨時町議会出席
7月31日 (金)	教職員等辞令交付式
8月19日 (水)	平成21年第8回教育委員会議
8月25日 (火)	平成21年度なかよしサミット
9月 6日 (日)	第54回北海道吹奏楽コンクール北海道大会
9月15・16日 (火・水)	町定例町議会出席
9月20日 (日)	東中中学校学校祭
9月27日 (日)	上富良野小学校学芸会出席
9月30日 (水)	平成21年第9回教育委員会議

10月22・23日(木・金)	札幌上富良野会総会出席
10月28日(水)	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会出席
10月29日(木)	学校訪問(上富良野西小・東中小・江幌小・東中中)
10月30日(金)	学校訪問(上富良野小・上富良野中)
	平成21年第10回教育委員会議
11月3日(火)	町表彰式及び町総合文化祭
11月5・6日(木・金)	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会
11月14日(土)	上富良野西小学校チャレンジ博覧会出席
	江幌小学校学芸会出席
11月22日(日)	東中小学校学芸会出席
11月27日(金)	平成21年第11回教育委員会議
12月15・16日(火・水)	町定例町議会出席
12月22日(火)	平成21年第12回教育委員会議
1月5日(火)	町民新年交礼会出席
1月10日(日)	成人式出席
1月21日(木)	平成22年第1回教育委員会議
2月10日(水)	上川南部教育委員会委員研修会
2月15日(月)	平成21年度上富良野町教育推進会議
2月18日(木)	平成22年第2回教育委員会議
2月26日(金)	町教育賞・教育奨励賞表彰式(上高)
3月1日(月)	道立上富良野高等学校卒業式出席
	町教育賞・教育奨励賞表彰式(高田幼稚園)
3月2日(火)	町教育賞・教育奨励賞表彰式(江幌小)
3月5日(金)	いしずえ大学卒業式出席
3月8日(月)	町定例町議会出席(9・15・16・24)
	町教育賞・教育奨励賞表彰式(東中小)
3月9日(火)	町教育賞・教育奨励賞表彰式(西小・上中・東中中)
3月11日(木)	上富良野中学校卒業式
	東中中学校卒業式出席
3月15日(月)	高田幼稚園卒園式出席
3月24日(水)	町教育賞・教育奨励賞表彰式(上小)
3月29日(月)	平成22年第3回教育委員会議
	平成21年度上富良野町教職員離任式出席

## (2) 教育委員会議

次に掲げる事項は上富良野町教育委員会事務委任規則（昭和48年3月19日教育委員会規則第1号）により、教育委員会議において議決が必要な事項で、それ以外の権限に属する事務は教育長に委任されている。

- ① 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- ② 学校、公民館、図書館、郷土館、その他教育機関の設置及び廃止に関すること。
- ③ 1件100万円を超える教育財産の取得を申し出ること。
- ④ 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- ⑤ 道費負担教職員の職務の一般方針を定める及び懲戒を行うこと。
- ⑥ 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- ⑦ 教育長、教育振興課長、主幹、施設長、指導主事、社会教育主事及びその他教育機関の長の任免を行うこと。
- ⑧ 学校、その他教育機関の敷地の選定及び変更に関すること。
- ⑨ 1件1,000万円以上の工事の計画を策定すること。
- ⑩ 条例、規則及び規定の制定、改廃に関すること。
- ⑪ 条例又は規則に定める委員の委嘱に関すること。
- ⑫ 教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案について、町長に意見を申し出ること。
- ⑬ 校長、教員、その他教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- ⑭ 文化財の指定及び解除に関すること。
- ⑮ 通学区域の設定及び変更に関すること。
- ⑯ 児童生徒の出席停止命令の手続きに関すること
- ⑰ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること
- ⑱ その他委員会において必要と認めたこと。

### 教育委員会議の開催状況と議案

会議名	開催日	議 案 等
平成21年 第4回 教育委員会	4月22日(水)	議事案件 1 上富良野町教育委員会事務局職員の人事発令について 2 上富良野町学校管理規則の一部改正について 3 上富良野町学校職員服務規程の一部改正について 4 上富良野町教育委員会事務局処務規程の一部改正について 5 上富良野町体育指導委員の解職・委嘱について 6 上富良野町学校評議員の委嘱について 7 上富良野町放課後子どもプラン事業運営協議会委員の委嘱について 8 上富良野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>9 上富良野町就学指導委員会委員の任命について</li> <li>10 上富良野町公民館分館長及び分館主事の任命について</li> <li>11 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>8 平成 21 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査への参加について</li> </ul> <p>報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 工事等の発注状況について</li> </ul>
平成 21 年 第 5 回 教育委員会	5 月 21 日(木)	<p>議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>2 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)補正予算について</li> </ul> <p>報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 工事等の発注状況について</li> <li>2 町立小中学校職員の復職時等調整について</li> <li>3 町立小中学校職員の人事等について</li> </ul>
平成 21 年 第 1 回臨時 教育委員会	6 月 21 日(日)	<p>議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 上富良野町立東中中学校校長故島野克志先生の教育委員会葬について</li> </ul>
平成 21 年 第 6 回 教育委員会	6 月 24 日(水)	<p>議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 上富良野町文化財保護委員の委嘱について</li> <li>2 学校用地の用途廃止について</li> </ul> <p>報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 工事等の発注状況について</li> <li>2 町立小中学校教職員の平成 21 年度 6 月期における勤勉手当の給与決定手続きについて</li> </ul>
平成 21 年 第 7 回 教育委員会	7 月 21 日(火)	<p>議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 町立小中学校教職員人事異動の内申について</li> <li>2 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>3 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)の補正予算について</li> </ul> <p>報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 工事等の発注状況について</li> <li>2 上富良野町教育委員会事務局職員の人事発令について</li> </ul>
平成 21 年 第 8 回 教育委員会	8 月 19 日(水)	<p>議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 行政財産の用途廃止及び解体について</li> <li>2 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</li> <li>3 上富良野町就学指導委員会委員の任命について</li> <li>4 上富良野町放課後子どもプラン事業運営協議会委員の解職・委嘱について</li> <li>5 上富良野町文化財保護委員の解職・委嘱について</li> <li>6 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)の補正予算について</li> </ul>



		<p>て</p> <p>7 平成 22 年度から使用する中学校用教科用図書の採択について</p> <p>8 平成 20 年度上富良野町教育委員会点検・評価報告について</p> <p>9 上富良野町集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について</p> <p>報告案件</p> <p>1 工事等の発注状況について</p> <p>2 上富良野町教育委員会教育行政評価委員会要綱の制定について</p> <p>3 上富良野小学校社会科副読本改訂事業補助金交付要綱の制定について</p>
平成 21 年 第 9 回 教育委員会	9 月 30 日(水)	<p>選任案件</p> <p>1 上富良野町教育委員会教育委員長及び委員長職務代理者の選任について</p> <p>議事案件</p> <p>1 平成 21 年度上富良野町教育委員会表彰受賞者の決定について</p> <p>報告案件</p> <p>1 上富良野町教育委員会委員の任命について</p> <p>2 工事等の発注状況について</p> <p>3 町立小中学校教職員の人事等について</p>
平成 21 年 第 10 回 教育委員会	10 月 30 日(金)	<p>議事案件</p> <p>1 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>2 平成 21 年度上富良野町教育委員会表彰受賞者の決定について (追加)</p> <p>報告案件</p> <p>1 工事等の発注状況について</p>
平成 21 年 第 11 回 教育委員会	11 月 27 日(金)	<p>議事案件</p> <p>1 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>2 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)補正予算について</p> <p>3 上富良野町集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例</p> <p>報告案件</p> <p>1 町立小中学校教職員の人事等について</p> <p>2 町立小中学校教職員の平成 21 年 12 月期における勤勉手当の給与決定手続きについて</p>
平成 21 年 第 12 回 教育委員会	12 月 22 日(火)	<p>議事案件</p> <p>1 行政財産の用途変更について</p> <p>報告案件</p>

		1 工事等の発注状況について
平成 22 年 第 1 回 教育委員会	1 月 21 日(木)	議事案件 1 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 2 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)の補正予算について 報告案件 1 町立小中学校教職員の人事等について
平成 22 年 第 2 回 教育委員会	2 月 18 日(木)	議事案件 1 平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 2 平成 21 年度上富良野町一般会計(教育費)予算について 3 平成 22 年度上富良野町教育行政執行方針(案)について 4 平成 22 年度上富良野町一般会計(教育費)予算について 5 平成 21 年度上富良野町教育賞及び教育奨励賞受賞者の決定について 6 上川教育研修センター組合規約の変更について 7 公共施設における広域市町村民の使用料の取り扱いに関する関係条例の整備に関する条例について 8 公共施設における広域市町村民の使用料の取り扱いに関する関係規則の整備に関する規則について 9 上富良野町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部改正について 10 上富良野町放課後クラブの規則の制定について 11 上富良野町放課後スクールの規則の制定について
平成 22 年 第 3 回 教育委員会	3 月 29 日(月)	議事案件 1 上富良野町教育委員会事務局職員の人事発令について 2 町立小中学校教職員人事異動について 3 上富良野町職員の勤務時間、休暇に関する規程の一部改正(教育振興課関係分)について 報告案件 1 へき地学校及びその級別の指定について 2 町立小中学校教職員人事等について

### 教育委員会協議会開催状況等

開催日	協議事項等
4 月 22 日(水)	1 町立学校における携帯電話の取り扱い等に関する基本方針(案)について 2 学校支援にかかわる事業について 3 道上富良野高等学校の入学状況について 4 教職員勤務時間の短縮等について 5 インフルエンザ罹患状況について 6 その他
5 月 21 日(木)	1 平成 21 年度上富良野町放課後クラブ・スクールの登録状況について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 上富良野町外国語活動推進委員会について</li> <li>3 幼稚園、町内各小中学校の運動会日程について</li> <li>4 その他</li> </ul>
6月20日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 7月・8月子ども関係社会教育行事予定について</li> <li>2 慶弔費に関する教育長交際費支出基準の改正について</li> <li>3 学校地域支援ボランティアについて</li> <li>4 平成20年度上富良野町教育委員会点検・評価報告について</li> <li>5 その他</li> </ul>
7月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 7月・8月社会教育事業行事日程について</li> <li>2 その他</li> </ul>
8月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 里仁分館経過説明について</li> <li>2 平成21年度夜間巡視概要報告について</li> <li>3 平成21年度社会教育行事の日程について</li> <li>4 平成21年度町の表彰候補者推薦について</li> <li>5 上富良野中学校吹奏楽部全道大会出場について</li> <li>6 各小中学校学芸会及び学校祭、社会教育行事の日程について</li> </ul>
9月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 平成21年度全国学力・学習状況調査の調査結果について</li> <li>2 新型インフルエンザ状況について</li> <li>3 その他</li> </ul>
10月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 平成21年度社会教育事業計画について</li> <li>2 第46回上富良野町総合文化祭について</li> <li>3 平成21年度上川管内教育委員会連合会第2回委員研集会について</li> <li>4 その他</li> </ul>
11月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 平成21年度青少年国内派遣交流事業について</li> <li>2 公民館里仁分館改築工事の変更について</li> <li>3 学校評価の実施について</li> <li>4 その他</li> </ul>
12月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 平成22年度予算(教育費)について</li> <li>2 青少年国内交流事業研修日程について</li> <li>3 子どもの「豊かな心」の育成に関するアンケート調査の実施について</li> <li>4 その他</li> </ul>
1月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 上川南部教育委員会研修会の開催について</li> <li>2 平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について</li> <li>3 上富良野町の学力向上プランについて</li> <li>4 公共施設における広域市町村民の使用料の取扱いについて</li> <li>5 その他</li> </ul>
2月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 町内各小中学校等卒業式の日程について</li> <li>2 その他</li> </ul>
3月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 町内各小中学校等入学式の日程について</li> <li>2 その他</li> </ul>

(3) 学校訪問、各種行事、研修会等への参加

月	行 事 等	開催場所	備考
4	平成 21 年度上富良野町教職員着任式 町内小中学校等入学式 上川管内教育委員会連合会総会・委員研修会	社教センター 各小中学校等 旭川市	
5	道立上富良野高等学校教育振興会 上小運動会、上中体育大会	上高校 各学校	
6	学校訪問（東中中・上中） 学校訪問（上小・江幌小） 学校教育指導訪問（西小） 東中小・中、西小、江幌小運動会 定例町議会	各学校 各学校 西 小 役 場	
7	第 46 回北海道教育委員研修会 平成 21 年度上川管内教育委員会連合会委員長部会研修会	札幌市 剣淵町	
8	平成 20 年度なかよしサミット 学校教育指導訪問（東中小）	社教センター 東中小	
9	学校教育指導訪問（上小） 定例町議会 上富良野小学校学芸会	上 小 役 場 上富良野小	
10	札幌上富良野会総会 学校教育指導訪問（江幌小） 学校教育指導訪問（東中中）	札幌市 江幌小 東中中	
11	町表彰式 町総合文化祭 上川管内教育委員会連合会委員研修会 江幌小、東中小学芸会、西小チャレンジ博覧会 学校教育指導訪問（上富良野中）	社教センター 社教センター 東川町 各学校 上 中	
12	定例町議会	役 場	
1	町民新年交礼会 成人式	JA かみふらの支所 かみん	
2	上川南部教育委員会委員研修会 町教育推進会議 町教育賞・教育奨励賞表彰式（上富良野高校）	中富良野町役場 社教センター 上高	
3	道立上富良野高等学校卒業式（上富良野高校） 町教育賞・教育奨励賞表彰式（高田幼稚園） 町教育賞・教育奨励賞表彰式（江幌小） いしずえ大学卒業式出席 定例町議会 町教育賞・教育奨励賞表彰式（東中小） 町教育賞・教育奨励賞表彰式（西小・上中・東中中） 上富良野中学校卒業式	上高 高田幼稚園 江幌小 公民館 役 場 東中小 各学校等 上 中	

東中中学校卒業式 高田幼稚園卒園式 町教育賞・教育奨励賞表彰式（上小） 上富良野町教職員離任式 町内各小学校（上小・西小・東中小・江幌小）卒業式 道立上富良野高等学校オリエンテーション	東中中 高田幼稚園 上 小 社教センター 各学校 上富良野高校
---	--

#### (4) 教育委員会議等の評価

##### (1) 教育委員会議について

条例や規則規程の改正、各種委員の承認等、事務的な手続きによるもの以外については、各委員の高い識見と課題解決に向けた積極的な発言が多くあった。また、各委員への報告や協議、情報提供等により、円滑な議事が進行された。

議案として取り扱う中でも、内容の軽重を吟味・精査し、慎重な審議が必要な案件についてはしっかりと時間をかけて議論することができるよう、説明や資料の提示や方法等も含めて、メリハリある議事運営に努めた。

##### (2) 各種行事、会議、研修会等への参加

① 学校訪問については、訪問する学校の日程を調整の上訪問し、それぞれの学校の取り組み等について学校長・教頭から説明を受けた後、児童生徒の学習の様子を見学するとともに、子ども達の学校での生活状況や学校の運動方針、施設、教育環境等、様々な視点で、各学校のよさや抱えている課題等を把握することに努めた。

② 学校教育指導訪問については、町内の6小中学校と日程を調整の上訪問し、算数、国語、数学、社会科の公開研究授業について、研究主題における内容を念頭におきながら、見学した。

③ 小中学校の入学式、卒業式、児童生徒等表彰式については各委員が教育委員会を代表して出席し、運動会、体育祭、学芸会、学校祭等の学校行事は、各委員が教育委員会として出席した。

④ 町の表彰式や教育委員会が主管する教職員の離着任式、成人式等に参加し、全道、上川管内、富良野沿線の委員研修に積極的に参加して、教育委員自身の自己研鑽に努めた。

⑤ 教育委員会議の審議内容については、町役場の情報コーナーにおいて公開し、町のホームページにも公開している。

今後も、教育委員会や学校等で取り組んでいる状況について町民の理解と協力を一層得るために、引き続き町の広報やホームページの活用を進める必要がある。

### Ⅲ 「教育行政執行方針」に基づく点検・評価

#### (1) 学校教育班関係

	評価項目	細項目
1	学校教育	① 学校教育アドバイザー配置 ② 全国学力・学習状況調査 ③ 上富良野町学力向上プラン ④ 学習活動交付金 ⑤ 新学習指導要領への対応準備 ⑥ 学校評価の充実
2	児童生徒の指導	① 心の相談員配置
3	特別支援教育	① 特別支援教育指導助手配置 ② 特別支援教育連絡協議会 ③ 就学指導委員会
4	学校危機管理	① スクールガードリーダー活用事業 ② 登下校時における地域の見守り
5	へき地・複式教育	① へき地・複式教育
6	教育環境整備	① 教育用コンピューター整備 ② 耐震化調査 ③ アスベスト6成分定性試験分析業務 ④ 児童、生徒用机・椅子整備 ⑤ 東中中講堂温風暖房機更新
7	国際理解教育	① 英語指導助手の配置
8	道立上富良野高校への支援	① 上富良野高等学校教育振興会補助
9	姉妹校交流事業	① 姉妹校交流事業
10	幼稚園教育	① 私立幼稚園就園奨励補助 ② 私立幼稚園特別活動振興補助

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	① 学校教育アドバイザー配置	推進目標			
目的	<p>教育を取り巻く状況はめまぐるしく改革が進められ、教育基本法や教育三法の改正が行われ、学校教育の根本的な部分からの見直しが進められようとしている中で、子ども達を取り巻く状況も大きく変化しており、学ぶ意欲や学力の低下、学習習慣の未成熟、規範意識の低下や倫理観の希薄化、社会的自立の遅れやいじめ問題など大きな課題が生じている。</p> <p>こうした状況の中で、行政職員のみでの教育委員会事務局体制下では、今般の教育改革に十分な対応を図ることが困難であり、専門的な知識と経験を持つ教育職員を教育委員会事務局に配置し、学校に対する指導助言、学校・家庭・地域の連携強化を図り、子ども達の学習環境の整備を図ることを目的とする。</p>			学校・家庭・地域の連携強化を図る			
概要	<p>教育委員会と町内各小中学校の連携強化を図り、各学校長と協力し、学校管理運営の充実を図る。「いじめ」「不登校」「問題行動」「虐待」等に対する早期発見、早期対応、早期解決のため、各学校を訪問し、教職員に対し適切な指導と助言等を行う。</p>			事業年度	開始	終了	
					H20年度	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
			1,959	1,959	0		
検証内容				評価			
必要性	昨今に教育環境の変化に対応し、現場（学校）での経験を基に、教委及び学校の立場を十分理解した対応が必要となっている。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	平成20年度に初めて配置し、学校と教委事務局との距離感をなくし、これまで以上の連携が図れる。			B	A	A	
費用対効果	本来、各教委事務局に必要な「指導主事」的な役割も担っており、現在の費用以上の効果が得られている。			(理由・説明)			
方向性	学ぶ意欲や学力の低下、学習習慣の未成熟、規範意識の低下や倫理観の希薄化、社会的自立の遅れやいじめ問題など課題が山積していることから、継続的な配置が必要						
今後の取組み	今後の課題						
	学校教育アドバイザーの活用範囲の拡大を図り、学校教育振興の体制作りを更に推進していく						
	改善策						
学校教育アドバイザーを活用し、校長会・教頭会等を通じて、学校に対する指導助言を行うと共に、様々な課題に対応するため学校・家庭・地域との一層の連携を強化していく							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	② 全国学力・学習状況調査	推進目標	児童生徒の生活習慣・学習習慣の見直し改善と学力向上を図る・		
目的	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、その学習改善を図る。						
概要	実施日 平成21年4月21日(火) 調査対象 小学6年生、中学3年生 調査教科 小学6年生 国語・算数 中学3年生 国語・数学 参加校 小学校4校、中学校2校			事業年度	開始 平成19年度	終了 継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額 国費	決算額 国費	差引
検証内容				評価			
必要性	学習や生活状況を把握・分析し、改善を図るためにも学力・学習状況調査が必要。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	全国の小学6年生と中学3年生が受験することにより正確な調査結果が得られ、本町の児童生徒の状況が把握できる。			B	B	B	
費用対効果	国費事業で効果的に実施されている。			(理由・説明) 各小中学校においては、改善プランを策定しており成果を上げている。			
方向性	全国学力・学習状況調査に参加し、その結果を詳細に把握・分析し成果と課題を検証し、改善を図る。						
今後の取組み	今後の課題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や学校での生活に安定した様子が見られており、基礎的な学力が身に付いていることが認められるが、それを発展させ応用することに課題がある</li> <li>・家庭学習の習慣化を図る必要がある。</li> </ul>						
	改善策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かりやすい・楽しい授業」を基本として、基礎・基本の一層の定着や朝読書の習慣化と読解力の育成をはじめ、指導方法工夫改善加配(TT)を配置し、効果的な指導のあり方、宿題の効果的な出し方、放課後の補習、体験活動、課題解決的な学習などを積極的に取り入れ、応用力・活用力の向上を図る指導を推進する・</li> <li>・学校・家庭と連携した家庭学習の習慣化を図る。</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	③ 上富良野町学力向上プラン	推進目標	上富良野町教育委員会としての方策をもとに、各学校は各自の課題・子どもの実態を再確認し、学力向上の具体策を立て実践化を図る。		
目的	平成20年度の学力学習状況調査から、全国との学力差に課題が明らかになった上富っ子の学力向上をめざした取組を構築する。						
概要	上富良野町としての学力向上プランの作成と実践 ・町としての学力向上への方策を各校に示す。 ・各校は、各自の課題を明確にして具体的な方策を立て、教育委員会に報告する。 ・各校は、上記の具体的な方策を実践する。			事業年度	開始	終了	
					平成21年度	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				無	無		
検 証 内 容				評 価			
必要性	もてる能力を十分発揮しきれていない上富っ子に対する方策は必要不可欠のものがある。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	方策が具体的なものになり、実践する内容が明確にすることができた。			B	B	B	
費用対効果				(理由・説明) ・取組の成果を確かめるための調査検証に時間を要する。。			
方向性	方策にある「家庭学習の充実」などの定着化を推進する。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	・各校のさらなる学力への向上努力。 ・家庭との連携を強化し、家庭の理解と協力を求める。						
	改 善 策						
	・実践への評価を的確に行い、さらに明らかになった課題への解決に向けた方策の改善や新たな方策の構築。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	④ 学習活動交付金	推進目標	特別支援教育の普及振興を図る。			
目的	上富良野町立小・中学校の児童・生徒の学習活動の推進及び学習指導要領改訂に伴う教職員の教育、研修活動の推進のための支援を行うことを目的とする。							
概要	様々な教育課題に対応する小・中学校の実情を踏まえ、現場における創意工夫を凝らした自立的な取組を支援するため、各学校から申請書の内容を審査し交付金を交付する。 交付金の額は、教職員数・児童生徒数に応じて算出した額に、各学校一律の学校基準額を合計した額とする。			事業年度	開始	終了		
					平成21年度	継続		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
					800	760	40	
検証内容				評価				
必要性	各学校の特色ある取組の支援、学習指導要領改訂への対応・準備の支援、教職員の研修活動等、各学校が現場において創意工夫を凝らした自立的な対応を行うため。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	各学校の規模や実情に応じた様々な取組をスムーズに行うことができる。			A	A	A		
費用対効果	学校行事や児童生徒の体験活動等及び学習指導要領改訂に向けた教職員の研修活動等に有効に活用できた。			(理由・説明) 平成21年度から学習指導要領改訂の移行期間であり、新学習指導要領の完全実施は、小学校が平成23年度、中学校が平成24年度からである。				
方向性	各学校の様々な教育課題に対応するため、また、学習指導要領改訂への対応・準備等に向けて、支援を図る必要がある。							
今後の取組み	今後の課題							
	新学習指導要領完全実施後も、各学校の実情に応じた対応を行うため、必要な取組である							
	改善策							
新学習指導要領完全実施後の取り組みについては、今後、検討していく								

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	⑤ 新学習指導要領への対応準備	推進目標	上富良野町教育委員会としての方策をもとに、各学校は各自の課題・子どもの実態を再確認し、学力向上の具体策を立て実践化を図る。			
目的	小学校に新たに教科として導入される「外国語活動」の円滑な授業推進に向けての準備・研修を目的とする。							
概要	校長会より委員長、教頭会より事務局長、小4校から推進委員に教諭各1名、教委3名で構成。 ・授業の進め方についての研究と授業の公開 ・授業推進に必要な教材教具の準備とその活用実践 ・評価の仕方の研修			事業年度	開始	終了		
					平成21年度	継続		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
				無	無			
検 証 内 容				評 価				
必要性	・新たな教科の取組に対し、研修は不可欠なものである。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	・外国語に不慣れな教諭が多い中、不安感を取り除き、準備にあたる事が出来ていた。			A	B	A		
費用対効果				(理由・説明) ・完全実施に向けての準備としては、役目を十分に果たした。 ・授業効果も徐々に上がってきている。				
方向性	・新指導要領の完全実施後も継続して研修を進める。							
今後の取組み	今 後 の 課 題							
	・完全実施後の検証と改善（授業のすすめ方や教材教具のあらたな開発など）							
	改 善 策							
	・外国語活動推進委員会の継続実施。 ・新たな教材教具の開発に向けての予算化。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	1 学校教育	細項目	⑥ 学校評価の充実				
目的	学校評価の充実は、学校課題を明らかにし改善の方策の基盤となるものである。			推進目標	学校の教育活動その他の学校運営について評価を行い、その結果に基づき学校及び設置者等が改善を図るとともに、評価結果を広く保護者等に公表することにより共通理解と相互の連携協力を促進するために学校評価の組織化と公表化を推進する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校に学校関係者評価委員会を設置し、地域の視点・意見も反映した評価とする。</li> <li>保護者アンケートの結果や学校評価の結果を家庭・地域に公表し、相互の連携協力を促進する。</li> <li>各校校長は、学校評価報告書を作成して教育長に報告する。</li> </ul>			事業年度	開始	終了	
					平成20年度	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				無	無		
検証内容				評価			
必要性	各学校の児童生徒の実態と、課題解決への努力の様子を把握し、今後の指導・助言・支援に活用する。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	保護者や地域の方々の学校に対する関心・理解・協力を得るための手立てとなる。学校の現状と課題が明確になり、その解決への具体的計画と実践に向けての重要な資料となる。			A	B	A	
費用対効果				(理由・説明) 学校評価の実施については、各学校とも文部科学省の方針を踏まえながら確実に実施されている。			
方向性	より効果的な学校評価の進め方のさらなる工夫と改善。課題解決への適切な方策を構築するためのさらなる研究の推進。						
今後の取組み	今後の課題						
	学校評価から明らかになった課題の一つ一つに対し、積極的な解決への工夫と改善をさらに図ること。						
	改善策						
	各校の課題がどのように、どの程度解決されているかを確認する手立ての構築。教育委員会としての学校への指導・助言・支援のあり方のさらなる工夫。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	2 児童生徒の指導	細項目	① 心の相談員配置				
目的	地域の人材を活用し、生徒が悩みや不安を気軽に相談できる話し相手として、また学校と保護者・地域のパイプ役として、不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応に当たる。			推進目標	いじめ・不登校などの未然防止や早期対応		
概要	相談員を上富良野中学校に配置（週3日、1日4時間の相談活動） ・生徒の話し相手・悩み相談 ・家庭・地域と学校の連携支援 ・その他の学校の教育相談活動の支援			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				480	459	21	
検証内容				評価			
必要性	生徒のいじめ・不登校などの未然防止や早期対応するために必要			達成度	効果度	総合評価	
有効性	学校に相談できない問題を抱えている生徒や保護者が相談員に相談できるようになり、教師も生徒指導の問題を相談できるなどの状況の改善が図られてきている。			A	A	A	
費用対効果	少ない予算で効率的に事業の取り組みを行っている。			(理由・説明) 学校に相談できない問題を抱えている生徒や保護者が相談員に相談できるようになり、教師も生徒指導の問題を相談できるなどの状況の改善が図られてきている。			
方向性	生徒・保護者・教師が相談しやすい体制を構築することにより、不登校・いじめといった生徒が抱えている課題について早期発見・早期対応を図る。						
今後の取組み	今後の課題						
	早期発見・早期対応の充実強化を実施することによりいじめ・不登校の減少を図る。						
	改善策						
	心の相談員の勤務日数増・上富良野小学校、上富良野西小学校への配置について検討						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	3 特別支援教育	細項目	① 特別支援教育指導助手配置	推進目標	障がいのある児童生徒（LD等の発達障害を含む）一人ひとりのニーズに応じた教育の推進			
目的	特別支援教育対象児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の推進のため、日常生活や学習支援、安全確保など学習活動上のサポートを行う。							
概要	特別支援教育指導助手の業務内容 ①基本的な生活習慣確立のための日常生活支援 ②発達障がいの児童生徒への学習支援 ③学習活動や移動等に関わる支援 ④児童生徒の健康・安全確保 ⑤学校行事における支援 ⑥周囲の児童生徒の障がい理解の促進 ⑦保護者との連携 ⑧その他 以上の8項目があり、学校の支持に従い、障がいのある児童生徒（LD等の発達障害を含む）並びに通常学級に在籍している学習困難等を抱える児童生徒を支援する。			事業年度	開始	終了		
						継続		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
			3,699	3,589	110			
検 証 内 容				評 価				
必要性	発達障がいのある児童生徒をサポートする。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	特別支援教育指導助手を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒を適切に支援することができる。			A	A	A		
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 発達障がいを含む障がいのある児童生徒を適切に支援することができる。				
方向性	障がいのある児童生徒の個々に応じた教育の充実を図るため、特別支援教育指導助手の配置を継続する。							
今後の取組み	今 後 の 課 題							
	現在、上富良野小学校と上富良野西小学校に1名づつ配置しているが、今後においては大規模校での複数配置や対象児童生徒が在籍する他の学校への配置も検討する必要がある。							
	改 善 策							
	特別支援教育指導助手の配置拡大を検討							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	3 特別支援教育	細項目	② 特別支援教育連絡協議会	推進目標	心身に障がいのある幼児及び児童生徒、学習障がい(LD)注意欠陥多動性障がい(ADHD)及び高機能自閉症等を含めた障がい等のある幼児及び児童生徒への支援のため必要な活動を行う。			
目的	心身に障がいのある幼児及び児童生徒の適正な就学を図り、学習障がい(LD)注意欠陥多動性障がい(ADHD)及び高機能自閉症等を含めた障がい等のある幼児及び児童生徒への支援のため、調査・研究及び巡回指導等必要な活動を行う。							
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>LD等を含む障がいのある児童生徒に対する支援体制の整備を促進するために、就学指導の機能を有する、教育・福祉・保健等に関係者からなる特別支援教育連絡協議会を設置</li> <li>特別支援教育連絡協議会の中に専門部会を設け、各学校への助言・支援を行うための巡回相談、就学に関する相談や研修会等の取り組みを進める。</li> </ul>			事業年度	開始	終了		
				事業費 (単位：千円)	平成17年度	継続	予算額	決算額
					86	20	66	
検 証 内 容				評 価				
必要性	特別支援教育の充実を図るために、児童生徒等の障がいの重度・重複度、多様化や保護者のニーズに対応するため、関係機関との連携を図り、きめ細やかな指導や支援を行う必要がある。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	学校・関係機関との連携・協力し合う特別支援教育連絡協議会を設置し、その中に専門部会を設け、障がいに応じた適切な指導助言、保護者等への相談支援、学校への支援を行うため有効である。			B	A	A		
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 就学前の児童生徒の相談支援体制を整備し、児童生徒の教育的ニーズに応えた指導を行っている。				
方向性	地域や関係機関との連携による支援体制の整備促進に努め、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援が行える体制整備を図る。							
今後の取り組み	今 後 の 課 題							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学相談を含めた相談支援体制の確立</li> <li>幼児児童生徒の実態に応じた個別の支援計画の策定</li> <li>保健福祉課、保育所、幼稚園、小学校、中学校と一貫した連絡体制を図る必要がある。</li> </ul>							
	改 善 策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>就学指導を含めた相談支援体制の充実を図り、各学校等の課題を共有し、課題解決ができるよう体制整備を行う。</li> <li>各学校等が抱える課題等について、連絡協議会や関係機関が共有できる環境整備を確立する。</li> <li>教育と福祉が中心となり、障がいの有無に関わらずお互いを尊重し、生涯に渡って上富良野で共に学び育ち、支え合う環境を創立する。</li> </ul>								

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	3 特別支援教育	細項目	③ 就学指導委員会				
目的	発達障害を含む障害のある児童生徒などの就学の適正を図ることを目的とする			推進目標	児童生徒などの就学の適正を図る		
概要	毎年1回、翌年度に入学及び進学する児童生徒の就学に関し、適正を図るため審議を行う。 新入学児童関係 (112人) 特別支援学級対象児童数 4人 ことばの教室通級対象児童数 9人 新入学生徒関係 (99人) 特別支援学級対象生徒数 3人 特別支援学校入学者数 1人 在校児童生徒についても審議を行う。			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				80	69	11	
検 証 内 容				評 価			
必要性	発達障害を含む障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うためにも必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	就学指導委員会の審議結果を基に児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っており有効性は高い。			A	A	A	
費用対効果	限られた予算の中での効果は大きい。			(理由・説明) 就学前検査状況と在校生の状況を充分把握した上での審議結果に基づき児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。			
方向性	今後も継続する必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談を含めた相談支援体制の確立</li> <li>・幼児児童生徒の実態に応じた個別の支援計画の策定</li> <li>・保健福祉課、保育所、幼稚園、小学校、中学校と一貫した連絡体制を図る必要がある。</li> </ul>						
	改 善 策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学指導を含めた相談支援体制の充実を図り、各学校等の課題を共有し、課題解決ができるよう体制整備を行う。</li> <li>・各学校等が抱える課題等について、連絡協議会や関係機関が共有できる環境整備を確立する。</li> <li>・教育と福祉が中心となり、障がいの有無に関わらずお互いを尊重し、生涯に渡って上富良野で共に学び育ち、支え合う環境を創立する。</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	4 学校危機管理	細項目	① スクールガードリーダーの活用事業						
目的	学校の管理下における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、子ども達が安心して教育を受けられるよう、学校の安全管理に関する取り組みを一層充実する。 防犯に関する専門的な知識と技能を有するスクールガードリーダーによる校区の巡回指導を実施することにより、危険箇所等を未然に把握して評価・改善につなげる。			推進目標	児童生徒の登下校や学校での安全を図る。				
概要	活動内容 ・ 町の生活安全推進協議会の地域安全部長による各校区の巡回指導（登下校時・学校行事など） ・ 学校周辺環境等の点検・評価 ・ 学校の施設・整備の点検・評価 ・ 登下校時における児童生徒の安全な行動に関する指導・評価			事業年度	開始	終了			
					平成18年度	平成21年度			
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引		
					道費	道費			
検 証 内 容				評 価					
必要性	児童生徒の登下校や学校での危機管理強化を推進するために必要である。			達成度	効果度		総合評価		
有効性	スクールガードリーダーの指導により、児童生徒の登下校や学校施設等の安全性を高めるために有効である。			A	A		A		
費用対効果				(理由・説明) スクールガードリーダーの配置により児童生徒や教師の安全に対する意識の向上が図られた。					
方向性	今後も学校や児童生徒に適切な指導を図っていく。								
今後の取組み	今 後 の 課 題								
	・ 道費活用のために上富良野小学校校区のみ巡回指導を年2回実施したが回数・実施校の拡大について検討が必要 ・ スクールガードリーダーのボランティアを養成する必要がある。(複数化も検討)								
	改 善 策								
	・ 各学校での安全対策に向けて学年毎の集会等を行う。 ・ 教職員による街頭指導等の強化								

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	4 学校危機管理	細項目	② 登下校時における地域の見守り	推進目標	児童生徒の登下校での安全を図る。		
目的	地域住民会において組織された「地域見守り隊」等により、児童生徒の登下校時における交通安全の推進と不審者等からの犯罪防止を目的に活動している。						
概要	「地域見守り隊」等は現在、5住民会で組織されており、上小及び西小校区の通学路を中心に活動している。 また、東中小の校区においては、不審者等が出没する等の緊急時に児童の通学路の周辺住宅に避難できるシステムを構築している。			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				無	無	無	
検 証 内 容				評 価			
必要性	児童生徒の登下校での危機管理強化を推進するために必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	「地域見守り隊」等による、児童生徒の登下校や交通安全の推進が図られる。			B	A	A	
費用対効果	住民会経費の中で賄われている。			(理由・説明) 地域見守り隊の配置により児童生徒や教師の安全に対する意識の向上が図られた。			
方向性	今後も、各学校、PTAと連携を図る必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	地域ボランティア活動として支援されているが、高齢化が進んでいることから継続的に活動がされる様な体制作りが必要である。						
	改 善 策						
	児童生徒の登下校での危機管理強化を推進するために、地域住民会だけの活動とせずPTA等にも活動を広げる。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	5 へき地・複式教育	細項目	① へき地・複式教育	推進目標	豊かな自然を生かす学習活動の推進		
目的	東中小学校、江幌小学校において、豊かな自然や小人数の特色を生かし、体験学習を主体とした学習を図る。						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や自然に親しむ活動</li> <li>・勤労・体験学習、</li> <li>・学校種間の交流学习</li> </ul>			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
		120	120	0			
検 証 内 容				評 価			
必要性	特色ある教育活動や心のふれあいを通じて、児童を育てるため必要性は高い。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	子ども一人一人の個性を伸ばさせ、豊かな人間性を培うことでへき地・複式教育の目的が図れる。			B	A	B	
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 小規模校の特性を生かした学習活動ができた。			
方向性	今後も、特色ある教育活動や心のふれあいを通じた学習機会を提供していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	へき地・複式教育の特性を生かした特色ある教育活動を更に推進する。						
	改 善 策						
	小規模・少人数の利点を生かし、地域に根ざした特色あるふるさと学習、体験学習、集合学習、交流学习のさらなる充実を図る。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	6 教育環境整備	細項目	① 教育用コンピューター整備	推進目標	学校教育に関する情報機器の整備と円滑な利用を促進する。			
目的	教育の情報化を通して教育の質の向上を図るため、学校教育に関連する情報機器の整備と円滑な利用を促進する。							
概要	年次計画により、各小中学校の教育用コンピューター更新を図る。 平成21年度実施内容 対象校 東中学校 更新内容 教育用コンピューター13台、プロジェクター、電子黒板購入他 ※ PC教室8台、普通教室4台、図書室1台、			事業年度	開始	終了	更新計画	
				事業費 (単位：千円)	平成19年度	継続		
			予算額		決算額	差引		
			2,415	2,415	0			
検証内容				評価				
必要性	学校における情報関連機器の整備は必要性が高い。 新学習指導要綱による電子黒板を整備し活用を図る。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	児童生徒へ情報教育を実施するだけでなく、一般の授業の中での活用が広がることから情報関連機器の整備は、有効である。			B	B	B		
費用対効果	防衛庁調整交付金を活用しての更新であり全体的には高額であるが、町の持ち出しは比較的安価である。			(理由・説明) 計画的に更新されている。				
方向性	今後も計画的に更新していく。							
今後の取組み	今後の課題							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の児童生徒に対する情報教育の指導力向上を図っていく</li> <li>・全ての教職員へのPC貸与が必要になっている。</li> </ul>							
	改善策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に更新していく。</li> <li>・各学校の更新計画にあわせて、教職員用PCの整備を図る。</li> </ul>								

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	6 教育環境整備	細項目	② 耐震化調査	推進目標	施設の耐震性を確認するため耐震2次診断を実施する		
目的	上富良野小学校校舎・上富良野中学校・西小学校のうち昭和56年以前建築(旧耐震基準)により建設された校舎等の耐震性を確認するため耐震2次診断を実施する。						
概要	耐震2次診断内容 ・上富良野小学校 調査箇所数3箇所 4,633㎡ ・上富良野中学校 調査箇所数4箇所 6,151㎡ ・上富良野西小学校体育館 調査箇所数1箇所 710㎡			事業年度	開始	終了	
					平成21年度	平成21年度	
				事業費 (単位:千円)	予算額	決算額	差引
					17,936	17,535	400
検 証 内 容				評 価			
必要性	施設の耐震性を確認するためにも耐震診断が必要			達成度	効果度	総合評価	
有効性	施設の耐震性を確認し、児童の安全を確保する上でも有効			A	A	A	
費用対効果	施設の耐震性を確認するためにも有効と判断する			(理由・説明) 耐震性能が確認され、教育環境整備の推進が図れる。			
方向性	調査結果を踏まえ整備計画を確立していく。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	上富良野小学校(Is値調査箇所最低値0.243~0.498)・上富良野西小学校体育館(Is値調査箇所最低値0.15)・上富良野中学校(Is値調査箇所最低値0.349~1.805)調査の結果Is値が0.6未満については、改修が必要である。特にIs値が0.3未満の上富良野小学校・上富良野西小学校については、早急な対応が必要である。						
	改 善 策						
	調査結果を踏まえ、今後の耐震改修・改築の整備計画を策定し計画的に実施する。						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	6 教育環境整備	細項目	③ アスベスト6成分定性試験分析業務	推進目標	学校施設の安全性を確認するため6成分定性分析調査を実施する		
目的	上富良野小学校校舎1・2線校舎、東中小学校校舎、上富良野中学校校舎及び特別教室棟機械室の天井に使用されている吹付け材のアスベスト含有量の分析調査を実施する。						
概要	アスベスト6成分定性試験分析業務内容 アスベスト6成分(トレモライト、アンソフィライト、アクチノライト、アモサイト、クリソタイル、クロシドライト)の含有量をX線回析分析及び分散染色分析により各成分が0.1%以上含有しているかを試験判定する。			事業年度	開始	終了	
					平成21年度	平成21年度	
				事業費 (単位:千円)	予算額	決算額	差引
				416	416	0	
検 証 内 容				評 価			
必要性	学校施設の安全性を確認するためにも調査が必要			達成度	効果度	総合評価	
有効性	施設の安全性を確認し、児童・生徒の安全を確保する上でも有効			A	A	A	
費用対効果	施設の安全性を確認するためにも有効と判断する			(理由・説明) 安全性が確認され、教育環境整備の推進が図れる			
方向性	診断結果に問題があれば改善措置が必要						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	分析の結果、アスベスト6成分の検出がなかったことから課題については、特になし						
	改 善 策						
	特になし						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	6 教育環境整備	細項目	④ 児童、生徒用机・椅子整備			児童・生徒が良好な学習環境の中で授業を受けられるよう整備を進める。		
目的	児童用、生徒用机・椅子整備の更新を図り、児童・生徒が良好な学習環境の中で授業を受けられることを目的とする。			推進目標				
概要	上富良野小学校児童用（1学年用）机・椅子 100組購入 上富良野中学校生徒用（3学年用）机・椅子 120組購入			事業年度	開始	終了		
					平成16年度	平成25年度		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
				2,420	2,420	0		
検証内容				評価				
必要性	児童・生徒の学習環境を整備していく必要がある。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	統一された机・椅子を整備することにより学習意欲の向上に繋がる。			B	A	A		
費用対効果	良好な学習環境が整えられ、効果は大と考える。			(理由・説明) 良好な学習環境良好な学習環境が整えられ、学習意欲の向上が図られている。				
方向性	他校の整備も行っていく。							
今後の取組み	今後の課題							
	机・椅子について、上小の整備は平成21年度で完了であるが、上富良野中学校については、平成21年度から隔年で1学年ずつ整備を進める。							
	改善策							
整備計画に添って整備を図る。								

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	6 教育環境整備	細項目	⑤ 東中中講堂温風暖房機更新					
目的	東中中学校体育館（講堂）は、昭和60年度に建設され、今年度23年を迎え、機能低下が著しい温風暖房機の更新し、教育環境の整備、教育効果の向上を図る。			推進目標	学校教育環境整備の推進を図る。			
概要	平成20年度 実施設計 平成21年度 復温工事			事業年度	開始	終了		
					平成20年度	平成21年度		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
					13,106	11,148	1,958	
検 証 内 容				評 価				
必要性	学校における教育環境の整備は必要性が高い。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	生徒への教育効果の向上のための整備であり、有効性は高い。			A	A	A		
費用対効果	防衛庁補助金を活用しての更新であり、効率的に実施している。			(理由・説明) 東中中講堂温風暖房機更新により学校教育環境整備の推進が図れた。				
方向性	今後も計画的に更新していく。							
今後の取組み	今 後 の 課 題							
	特になし							
	改 善 策							
	特になし							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	7 国際理解教育	細項目	① 英語指導助手の配置	推進目標	児童生徒が英語を理解し、表現する基礎能力を養い、外国の文化や生活習慣を学び、国際理解教育を英語力の向上から深める。			
目的	英語に慣れ親しみ、日常会話や外国の文化、生活、習慣などを学ぶため、町内の小中学校に英語指導助手を派遣し、英語力の向上を図る。							
概要	姉妹都市であるカナダ国カムローズ市より英語指導助手を招き、町内の小中学校に派遣して英語教育、総合的な学習の時間（国際理解教育など）に活用する。 また、幼稚園や保育所にも派遣し、幼児期から英語に親しむ活動や町民を対象とした英語教室を開設（社会教育事業）し、町民全体が英語に親しめる環境を目指している。			事業年度	開始	終了		
						継続		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
				4, 890	4, 510	380		
検証内容				評価				
必要性	小学生段階から国際理解教育を充実することにより、次世代を担う子ども達に国際的な視野を持ったコミュニケーション能力を育成する必要がある。			達成度	効果度	総合評価		
有効性	コミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地を育成するためには、英語指導助手を小中学校に派遣することは有効である。			B	A	A		
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 日本語の能力がない英語指導助手の小学校への派遣は、事前の教師との打合せや、授業においてコミュニケーションがうまくとれない場合がある。				
方向性	義務教育はもとより、生涯にわたる外国語学習の基礎を培うため継続して実施する。							
今後の取組み	今後の課題							
	学習指導要領が改定され、小学5・6年生に外国語活動が導入されることから、更に活用方法を検討していく必要がある。							
	改善策							
	新学習指導要領移行期間中（H21～H22）に各小学校と協議し、英語指導助手の活用方法を更に検討していく。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	8 道立上富良野高校への支援	細項目	① 上富良野高等学校教育振興会補助	推進目標	上富良野高等学校の特色ある学校づくりの振興		
目的	北海道上富良野高等学校の将来的展望に基づき教育環境整備を促進し、特色ある地域に根ざした学校づくりの振興に寄与する。						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、生徒の学習等への支援</li> <li>・中・高校職員の交流活動への支援</li> <li>・特別活動、ボランティア活動への支援</li> <li>・生徒会活動、部活動、学校行事、教育環境整備、学校開放講座への支援</li> <li>・入学準備金の助成支援</li> <li>・特色ある学校づくり対策への支援</li> </ul>	事業年度	開始	終了			
		事業費 (単位：千円)	2,037	1,760	277		
検証内容				評価			
必要性	上富良野高等学校が存続するためにも必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	特色ある地域に根ざした学校づくりの振興に有効性が高い。			A	B	A	
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 生徒の確保を目的に特色ある学校づくりに様々な支援を実施してきた。 平成22年度入学者が定員を上回った。			
方向性	地域やPTAとの連携による支援体制の強化に努め、学校ニーズに応じた支援が行う必要がある。						
今後の取組み	今後の課題						
	平成22年度の入学は、42名と定員を2名上回ったが、今後においても各中学校・各関係機関とも協議・調整しながら更に生徒の確保に努めなければならない。						
	改善策						
特色ある学校づくりを振興するための支援策の強化							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	9 姉妹校交流事業	細項目	① 姉妹校交流事業	推進目標	上富良野町立西小学校との姉妹校交流の推進を図る。		
目的	上富良野町立西小学校と三重県津市安東小学校の姉妹校交流を推進するため、交流会、交歓会、ホームステイ等の交流活動の場を通じて心豊かな子どもを育てる。						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県津市安東小学校への訪問（3年に1回 前回20年度実施）</li> <li>物品交流</li> <li>交流会、交歓会</li> <li>ホームステイ</li> </ul>			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	30	30	0
検 証 内 容				評 価			
必要性	両校の伝統や地域のよさを学び心豊かな子どもを育てる場として必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	先人の勇気と強い心を学び、交流を通じて友情を築きながら、心豊かな子どもたちを育てることができる。			B	A	B	
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 両校の子どもたちの交流を通じて、お互いの地域文化を理解できていると考える。			
方向性	今後においても両校との連携を図り、効果的な交流を図る必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	交流の必要性はあるが、相手校の状況等を十分把握し、交流の仕方等を検討していく必要がある。						
	改 善 策						
交流の仕方等を検討していく。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	10 幼稚園教育	細項目	① 私立幼稚園就園奨励補助				
目的	私立幼稚園へ通園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興を図るため国の施策に基づき実施する。			推進目標	幼児教育の一層の普及充実を図る。		
概要	保護者負担の軽減を図るため、私立幼稚園の入園料・保育料に対し保護者の所得階層に応じて補助金を交付する。			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位:千円)	予算額	決算額	差引
			1 2, 5 4 6	1 2, 3 1 2		2 3 4	
検 証 内 容				評 価			
必要性	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済負担を軽減するため必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	幼児期の教育の重要性が指摘されており、経済的にも有効である。			A	A	A	
費用対効果	国の施策に沿って限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減されており、幼児教育の推進が図られた。			
方向性	今後においても、国の動向を踏まえ、私立幼稚園と連携を図りながら実施していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	国の制度改正により保護者負担が軽減される傾向にあり、補助金が増加している。						
	改 善 策						
	今後においても、国の動向にを十分把握しながら適切な対応を図る。						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 学校教育班

評価項目	10 幼稚園教育	細項目	② 私立幼稚園特別活動振興補助				
目的	幼児教育を担っている私立幼稚園に対して補助金を交付し、より一層の普及充実を図る。			推進目標	幼児教育の一層の普及充実を図る。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質の向上を図るための研修、研究費</li> <li>・園児に魅力のある教育の場の確立を図るための教材費</li> <li>・共働き家庭のために実施する預かり保育に係る人件費</li> </ul>			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				2, 500	2, 500	0	
検 証 内 容				評 価			
必要性	社会状況の多様化とともに、幼児教育の重要性・必要性が高まっている。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	共働き家庭のための預かり保育については、特に有効である。			B	A	A	
費用対効果	限られた予算の中で効率的に実施している。			(理由・説明) 教職員の資質の向上を図るための研修、教材、及び預かり保育の人件費等で幼児教育の推進が図られた。			
方向性	今後においても、私立幼稚園と連携を図りながら実施していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	特になし						
	改 善 策						
	特になし						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

(2) 社会教育班関係

	評 価 項 目	細 項 目
1	家庭教育	① 「道民家庭の日」の啓発普及
2	青少年教育	① 子ども会育成協議会 ② スポーツ少年団育成事業 ③ 青少年団体協議会 ④ 青少年国内交流事業 ⑤ 学校支援地域本部事業
3	放課後プラン事業	① 放課後スクール事業 ② 放課後クラブ事業
4	成人・高齢者教育	① いしずえ大学 ② 女性学級（女性教育）
5	文化芸術の振興	① 総合文化祭 ② 富良野町文化連盟活動事業 ③ 自主企画芸術鑑賞補助
6	図書館運営	① 図書館管理運営 ② ブックスタート ③ 読み聞かせ会 ④ 読書コンクール ⑤ 学校図書室所蔵図書データ化
7	文化財歴史の保存・活用	① 指定文化財保存 ② 郷土をさぐる会補助
8	スポーツ振興	① スポーツ団体（体協）補助 ② 各種スポーツ大会参加補助 ③ スポーツ教室の開催 ④ スポーツ普及活動 ⑤ 総合型地域スポーツクラブ運営支援
9	社会教育施設の管理	① 各公民館分館管理運営 ② 開拓記念館外壁塗装 ③ 公民館管理運営 ④ 社会教育総合センター管理運営 ⑤ B&Gプール管理運営 ⑥ パークゴルフ場管理運営 ⑦ 社会教育総合センターボイラー更新 ⑧ 富原運動公園グラウンド芝生改修

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	1 家庭教育	細項目	① 「道民家庭の日」の普及啓発			
目的	青少年の健全育成を図るため、家庭におけるコミュニケーションが不足がちな現在、月に1日でも家族全員で食事をしたり、ゆっくり話をする機会を設けるよう推進する。			推進目標	青少年の健全育成を図るため家庭教育の充実を目指す。	
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第3日曜日を「道民家庭の日」として推進している。</li> <li>町の青少年健全育成をすすめる会の広報誌「ほのぼの」と町広報誌による啓発活動。</li> <li>(財)北海道青少年育成協会では青少年の健全育成を図るために、「道民家庭の日」を推進し、家族連れに対して協賛店による優待サービスを行っている。</li> </ul> ※上富良野町の協賛店：フラワーランド・後藤純男美術館・トリックアート・土の館 ※北海道家庭教育サポート企業：(株)佐川建設・(有)多田農園・富良野通運(株)			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額
検 証 内 容			評 価			
必要性	家庭教育を充実し、青少年の健全育成を図るために必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価
有効性	少しずつではあるが、家庭教育の必要性について浸透しつつある。			B	B	B
費用対効果	費用は要していないが、効果は大きい。			(理由・説明)		
方向性	今後も継続していく					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	町の将来を担う青少年の健全育成に、家庭教育は大きな役割を果たしており、町や関係機関の広報誌、防災無線等による更なる啓発が必要と考える。 また、町内の事業者等にも理解していただき、協賛店を増やす必要がある。					
	改 善 策					
町や関係機関の広報誌の充実を図り、町内の事業者等にも理解していただき、協賛店を増やし、家族団欒の時間、場所、環境づくりを促進していく。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	2 青少年教育	細項目	① 子ども会育成協議会				
目的	地域社会での集団行動を通じて、子供たちの協調性・創造性を養い体験から学び、豊かな心を育てることを目的に行われる子ども会育成協議会の活動に対して支援を行う。			推進目標	子どもの健全育成を図る		
概要	子供たちがたくましく成長する様々な交流、体験活動を行う。 事業内容 田植え・稲刈り体験、野外体験(キャンプ)、子ども会祭り、餅つき交流会など 登録団体数・会員数 32団体 509人			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
		300	300	0			
検 証 内 容				評 価			
必要性	単位子ども会の活性化を目指し、子ども達の発達を促すためにも必要である			達成度	効果度	総合評価	
有効性	様々な行事を通しての子ども同士の交流や、保護者間での交流も活性化している。			B	B	B	
費用対効果	限られた予算の中で活発な活動を展開しており効果は大。			(理由・説明) 子ども同士の交流や、保護者間での交流も活性化している。			
方向性	子ども会の活性化に向けて育成者の研修強化を図る。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	少子化が進む中で、子ども会の活性化に向けた支援は重要であり、育成者の研修強化も必要であるが、今後に向けては単位子ども会の統合等についても検討する必要があると考えられる。 また、各自治会組織の関わり方についても検討していく必要がある。						
	改 善 策						
	各自治会組織に関わっていただきながら、子ども会の活性化に向けて育成者の研修強化を図る。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	2 青少年教育	細項目	② スポーツ少年団育成事業				
目的	町内スポーツ少年団の組織運営や研修等を円滑に推進し、スポーツ振興の発展を図りながら、青少年の体と健康づくりを目的とする。			推進目標	スポーツ振興の発展を図りながら、青少年の体と健康づくりを目指す		
概要	スポーツ少年団本部に対し補助を行い、町内スポーツ少年団の育成指導を図り、その活動を活発化する 加盟団体 14 団体 団員数 259 人			事業年度	開始	終了	
					昭和 50 年度	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	
			1, 100	1, 100	0		
検 証 内 容				評 価			
必要性	青少年の体と健康づくりを目指し、スポーツ振興の発展推進のため必要性は大である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	スポーツ少年団の育成指導を図り、その活動を活発化しており有効である。			B	B	B	
費用対効果	限られた予算の中で、各団体の活動に補助し、その活動を活発化しており効果は大である。			(理由・説明) 青少年の体と健康づくりを目指し、スポーツ振興の発展推進のため、スポーツ少年団の育成指導を図り、その活動を活発化している			
方向性	今後も継続する必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	指導者の育成とボランティア支援者の確保が課題となっている。						
	改 善 策						
	指導者育成研修会等の開催を検討する。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	2 青少年教育	細項目	③ 青少年団体協議会				
目的	地域の活性化、新たな生活文化の創造と生涯学習の意識高揚に基づき、地域青年リーダーの養成をはかることを目的とする。			推進目標	ボランティア活動や地域活動にかかわることで、次世代の青年を養成する。		
概要	1. 児童館活動支援 2. 子ども会活動支援 3. 文化祭協賛事業参加 4. ゴミ拾い・雪下ろしボランティア 5. クリスマスプレゼント配布 6. 雪合戦参加 7. 全道青年大会参加 他 会員数 24名			事業年度	開始	終了	
					昭和 37 年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				50	50	0	
検 証 内 容				評 価			
必要性	青年が集い親睦交流やボランティア活動を通じて、町づくり・地域づくりを担う青年リーダーを養成する必要がある。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	青少年活動支援及びボランティア活動等に積極的に参加され効果が得られている。			B	B	B	
費用対効果	会費と補助金で運営。			(理由・説明) 地域の活性化、新たな生活文化の創造と生涯学習の意識高揚を図っている。			
方向性	教育振興基本計画（第7次社会教育中期計画）に基づき、今後も活動の継続を期待している。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	会員数 24 名で登録者数は多くない。趣味・スポーツ等の活動が多様化しており、特に集団活動への参加は低迷している。						
	改 善 策						
	広報誌等により活動内容の紹介等を行い活動を知ってもらうことにより新規会員の獲得を図る。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	2 青少年教育	細項目	④ 青少年国内交流事業	推進目標	青少年育成のために、上富良野町と縁のある都市等の歴史・経済・教育・環境等についてを学習し見聞を広める。		
目的	上富良野町の将来を担う青少年育成事業として、友好都市提携を結んでいる津市に派遣し、本町の開拓者の先祖として姉妹都市を結んでいる三重県津市に派遣し、歴史を学び児童間の交流を深める。						
概要	青少年国内交流事業は、平成21年度から青少年国内交流実行委員会が実施(子ども会育成協議会が主催していたが、子ども会加盟者以外も対象とするため)。対象は小学4～6年生、定員は40名(H21 38名)、派遣時期は冬休み期間の1月に実施。補助金は平成19年度から交付要綱改正に伴い、対象経費の60%以内。3年に1回実施。ジュニアリーダーとして、中・高校生(H21 1名)が同行。引率は実行委員会(2名)と事務局(3名)			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位:千円)	平成9年	継続	
				予算額	決算額	差引	
				1,780	1,773	7	
検 証 内 容				評 価			
必要性	青少年のリーダー養成の一環としている。また、友好都市を訪問し、町の歴史について学習する事業として位置づけている。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	青少年のリーダーとして、子ども会等活動に積極的に活動している。また町内の異なる学校や異学年の交流学習として機能している。			A	A	A	
費用対効果	国内外交流推進基金を活用し、効果は大きい。			(理由・説明) 町の将来を担う青少年の人材育成には必要な事業である。			
方向性	今後も事業を継続していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	研修計画において、上富良野町の児童は冬季休業中だが津市の児童は平常授業のため、事前に調整する必要がある。また研修費用を安価にするため宿泊研修所を利用してきたが、参加児童のアレルギー等の既往歴を考慮し事業計画をたてていく必要がある。						
	改 善 策						
実行委員会体制を整え、事業計画等について十分協議していく。							

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	青少年教育	細項目	⑤ 学校支援地域本部事業			
目的	学校、家庭、地域の連携協力のもと地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的とする。 「みんなで支える学校 みんなで育てる子ども」			推進目標	学校、家庭、地域住民が教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携、協力を努める。	
概要	それぞれの学校の状況に応じて地域ぐるみで学校の教育活動の支援をボランティア員が行う。 学校では教育活動のさらなる充実が図られ、地域は町民自らの学習成果を生かす場が広がり、地域の教育力が向上され、大人が子どもと向き合う時間が増える。 ※実行委員会組織により道委託業務として実施			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額
				H20	継続	
				無	無	
検 証 内 容				評 価		
必要性	これからの教育は学校だけが役割と責任を負うのではなく、これまで以上に学校、地域、家庭の連携協力が必要である。			達成度	効果度	総合評価
有効性	この活動を通じて、地域の連帯感が形成され、地域の教育力の向上や地域の活性化につながると考える。			B	B	B
費用対効果	北海道からの委託補助事業として実施しているが、対象経費にボランティア員の活動費、謝金等は対象外である。 事業全体の広報啓発費、保険料が主な補助経費である。町の一般財源はなし。			(理由・説明) ボランティア員 61 登録され、少しずつ事業が浸透してきている。 需要と供給のバランスも重視しながら、より良い体制の整備が望まれる。		
方向性	今後も学校、地域、家庭が連携した取り組みは必要である。					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	これまでのPTA活動や学社融合事業、図書館読み聞かせ事業など、地域が学校と連携し関わって実施してきた取り組みとの意義・目的の明確化。 町全体のボランティア活動との関係を今後どのようにするのか調整する必要がある。					
	改 善 策					
	将来的な展望で、地域と学校との係わりの体制整備を図り、必要経費など予算も統括的に検討をしていく。					

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	3 放課後プラン事業	細項目	① 放課後スクール事業	推進目標	学校施設を利用し、子どもの安全な居場所づくりを確保する。		
目的	放課後における子どもの安全安心な居場所づくりの確保と子どもの健全育成と、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目的とする。						
概要	各小学校を活動拠点とし、地域の参画を得ながらスポーツや文化活動、交流活動を行う。(放課後クラブ事業と同時進行) 対象 小1～小6年 上小・西小 月～金(放課後から午後4時) 江幌小 週1回 みんなで遊ぼう教室を開催 登録人数 149人 利用人数 延べ7,644人 開設日数 延べ420日			事業年度	開始	終了	差引
				事業費 (単位:千円)	平成19年度	継続	
検証内容				評価			
必要性	放課後の子どもの安全な居場所づくりを行い、地域の大人達に関わることで子ども達の健全な育成を図る上からも必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	放課後の子どもの安全な居場所づくりを行い、地域の大人達に関わることで子ども達の健全な育成が図られており、有効性は大きい。			B	A	A	
費用対効果	国費、道費の補助があり、費用対効果は大			(理由・説明) 地域の大人達に関わることで子ども達の健全な育成が図られている			
方向性	今後も継続						
今後の取組み	今後の課題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は既存の学校施設の空きスペースを利用しながら運営しているが、今後においては登録者、利用者の増加が予測されている中で空きスペースの確保が大きな課題となる。また、特別支援対象児童の受け入れ等や指導員体制のあり方等について検討していく必要がある。</li> <li>国費、道費の補助がいつまで続くかは不明確であり対応を考慮していく必要がある。</li> </ul>						
今後の取組み	改善策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉所管との連携による特別支援対象児童の受け入れ検討</li> <li>学校支援ボランティア員との連携・協力体制の整備</li> <li>利用料金(受益者負担)のあり方を検討する。(受益者負担の定期的な見直し)</li> </ul>						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	3 放課後プラン事業	細項目	② 放課後クラブ事業	推進目標	学校施設を利用し、子どもの安全安心な居場所づくりを確保し、留守家庭等の子育て支援を行う。		
目的	放課後における子どもの安全安心な居場所づくりの確保と留守家庭等の子育て支援を目的とし、保護者の就業を支援して子どもの健全育成を目的とする。						
概要	各小学校を活動拠点とし、地域の大人たちが指導員となりスポーツや各種遊びを行いながら、子ども達を見守る。(放課後スクール事業と同時進行) 対象 小1～小3年の留守家庭児童 上小・西小 月～土(放課後から午後6時) 江幌小・東中小(長期休業期間) 登録人数 103人 利用人数 延べ14,575人 開設日数 延べ573日			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位:千円)	予算額	決算額	
検証内容				評価			
必要性	放課後における留守家庭児童の安全な居場所づくりと子育て支援を行い、地域の大人達が関わることで子ども達の健全な育成を図る上からも必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	放課後における留守家庭児童の安全な居場所づくりと子育て支援を行い、地域の大人達が関わることで子ども達の健全な育成が図られており、有効性は大きい。			B	A	A	
費用対効果	国費、道費の補助があり、費用対効果は大			(理由・説明) 放課後における留守家庭児童の安全な居場所づくりと子育て支援を行い、地域の大人達が関わることで子ども達の健全な育成が図られている			
方向性	今後も継続						
今後の取組み	今後の課題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は既存の学校施設の空きスペースを利用しながら運営しているが、今後においては登録者、利用者の増加が予測されている中で空きスペースの確保が大きな課題となる。また、特別支援対象児童の受け入れ等や指導員体制のあり方等について検討していく必要がある。</li> <li>国費、道費の補助がいつまで続くかは不明確であり対応を考慮していく必要がある。</li> </ul>						
	改善策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉所管との連携による特別支援対象児童の受け入れ検討</li> <li>指導員の確保とボランティア化(費用の抑制)</li> <li>利用料金(受益者負担)のあり方を検討する。(受益者負担の定期的な見直し)</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	4 成人高齢者教育	細項目	① いしづえ大学	推進目標	高齢者の活動の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育の推進を図る		
目的	高齢者が「若く老いよう」を合言葉に仲間が集い、共に学習やクラブ活動で文化・スポーツ・生活等について学び、正しい心と健やかな体をつくり、豊かな生活を築くことを目的とする。						
概要	151人の学生が在籍し、最長10年間にわたり月2回（毎月第2・4金曜日）の学習日がある。 学習計画に従い教養講座、軽スポーツ、運動会、クラブ活動、ボランティア活動、研修旅行などを行う。			事業年度	開始 昭和47年度	終了 継続	
				事業費 (単位:千円)	予算額 572	決算額 486	差引 86
検 証 内 容				評 価			
必要性	今後において高齢者社会を迎えるにあたり、高齢者の活動の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育において重要な事業と位置付けている			達成度	効果度	総合評価	
有効性	高齢者の学習機会を得る場として、大学が有効に機能している。			B	A	A	
費用対効果	限られた予算の中で効果は大きい。			(理由・説明) 高齢者の活動の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育において重要な事業と位置付けている			
方向性	今後も事業を継続していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	60歳から入学でき、10年間在籍できるようになっているが、長寿傾向の中で在籍期間の延長が望まれている。 又、学習した成果を地域社会で生かすことで、地域との関わりを更に強く持つことが望まれる。						
	改 善 策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿傾向の中で在籍期間の延長が望まれていることから、入学年齢や在籍期間等についても検討していく必要がある。</li> <li>・知識・経験を生かす人材活用の場の確保</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	4 成人・高齢者教育	細項目	② 女性学級（女性教育）	推進目標	女性の学習の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育の推進を図る		
目的	女性が多様化・高度化する社会の課題に自らが学習カリキュラムを計画することにより、文化・スポーツ等について学び、女性の交流の輪を広げ豊かな生活を築くことを目的とする。						
概要	【実施要綱に基づく】 定員⇒50名 学習期間⇒4月開講式、5月～1月（9回）2月閉講式 学習内容⇒講話・軽スポーツ・趣味の学習・社会見学 等			事業年度	開始	終了	
					昭和46年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
		22	22	0			
検 証 内 容				評 価			
必要性	女性の学習活動の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育において重要な事業と位置付けている			達成度	効果度	総合評価	
有効性	女性の学習機会を得る場として、学級が有効に機能している。			B	A	B	
費用対効果	限られた予算の中で効果は大きい。			(理由・説明) 女性の学習活動の場を確保し、生きがいつくりなど生涯教育を図る。			
方向性	今後も事業を継続していく必要がある。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	50名の定員を超える受講希望者がある。						
	改 善 策						
実施要綱を見直し、他の学習受講生と重複した場合は、優先順位を取り入れる。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	5 文化芸術の振興	細項目	① 総合文化祭	推進目標	文化活動を行っている愛好者の発表機会と鑑賞機会を設け、町の文化発展に寄与する		
目的	文化の日（11月3日）を中心に、町内で文化活動を行っている愛好者の発表機会と鑑賞機会を設け、町の文化発展に寄与することを目的とする。						
概要	文化団体、町、農協、商工会等で構成する文化祭実行委員会が主催し、芸能発表、展示会、体験教室などの日頃から研鑽している文化活動の発表を社会教育総合センターを会場として行う。 平成21年度 入場者数 3,090人 芸能発表 20団体 216人 展示数 1,491点			事業年度	開始 昭和38年度	終了 継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額 300	決算額 300	差引 0
検 証 内 容				評 価			
必要性	町内の文化愛好者が発表機会を得ることにより、町の文化発展に大きな効果が得られることから必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	町の文化発展に大きな効果が得られている。			A	A	A	
費用対効果	実行委員会への負担金のみで運営されており、少ない費用で町のイベントとして位置付けされており効果は大である。			(理由・説明) 町及び文化団体により実行委員会を組織して実施している。			
方向性	町の文化発展に大きく寄与しており、今後も継続していくことが必要						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	各関係団体・機関が、参画できるよう取り組みを進める。						
	改 善 策						
各関係団体・機関が参画できるよう実行委員会において検討協議を進める。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	5 文化芸術の振興	細項目	② 上富良野町文化連盟活動事業				
目的	町民の文化向上と各単位団体間の連携と親睦をはかる			推進目標	町の文化振興		
概要	町文化連盟を中心に各単位団体が活発な活動を展開し、町総合文化祭においても、連盟役員が実行委員会に参画し、芸能発表や展示等の参加調整をしている。 文化活動の推進ばかりでなく、日頃の研鑽した活動を福祉分野においても展開している。 ※平成21年度 42団体 423名			事業年度	開始	終了	
					昭和40年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
					140	140	0
検証内容				評価			
必要性	町の文化振興には必要不可欠と考える。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	町の文化発展に大きな効果が得られている。			A	A	A	
費用対効果	町からの補助金と登録料・会費等で運営されている。自主的に町のイベント及びボランティア活動に参画し効果は大である。			(理由・説明) 町の文化発展に大きな効果が得られている。			
方向性	町の文化発展に大きく寄与しており、今後も継続していくことが必要						
今後の取組み	今後の課題						
	文化連盟及び各文化団体の後継者不足、若年層（青年）が少ない。						
	改善策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化連盟及び各文化団体における後継者の育成。</li> <li>各団体の活動状況等を広報等により知ってもらうことで新規会員の獲得を図る。</li> </ul>						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	文化振興関係	細項目	③ 自主企画芸術鑑賞事業				
目的	町民が自主企画し、芸術・芸能・文化等の鑑賞機会を地域住民に提供する機会の充実を図ることの支援、また、地域住民の心に安らぎと潤い、豊かさをもたらすことを目的とする。			推進目標	団体育成の向上、地域住民への鑑賞機会提供の拡大を目的とする。		
概要	2団体が申請し、各団体で調整、運営し、地域住民に鑑賞機会を提供する。 実施内容 ・6/26（木）井上堯之トーク&ライブ（音楽大好きな仲間の会） ・9/20（日）白いうた青いうたミニフェスティバル in 上富良野（白いうた青いうたミニフェスティバル in 上富良野実行委員会）			事業年度	開始	終了	
					平成11年度	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
			150	150			
検 証 内 容			評 価				
必要性	町づくり・地域づくりを図るにあたり、団体育成、地域住民に芸術・芸能・文化等の鑑賞機会の提供が必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	自主的に公演を企画・運営することで団体の活動向上となり、また、多くの地域住民が鑑賞に来ている。			B	B	B	
費用対効果	補助金と団体費用で実施。			(理由・説明) 地域の活性化、新たな生活文化の創造の意識高揚を図っている。			
方向性	今後も継続して実施。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	自主企画にも関わらず、募集团体が職員に要項外の支援を求めることがあるため、団体が制度を理解する必要がある。						
	改 善 策						
自主企画芸術鑑賞事業の趣旨、要綱等の事前説明を充分に行い団体の事業に対する理解度を高める。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	6 図書館運営	細項目	① 図書館管理運営	推進目標	幼児期から成人まで継続した読書習慣や様々な調査・研究等ができる資料の提供、また、地域の情報源となる図書館を目指していく		
目的	図書、雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供を行う また、読み聞かせ活動や講座を通じて、読書の普及を行う						
概要	図書・視聴覚資料の貸出し（蔵書数42,597冊）※22.3末現在 読み聞かせ（保育所・幼稚園・子育てセンター・小学校・図書館） 映画会（2か月に1回）、図書館まつり（新型インフルエンザの為中止）、講座の開催 開館総日数 294日 閲覧者数 28,627人 1日平均 97.4人 貸出蔵書数 78,569冊 1日平均 262.2冊 人口一人当たり貸出冊数 6.6冊			事業年度	開始	終了	
					昭和46年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
					8,950	8,524	426
検 証 内 容				評 価			
必要性	図書館は読書の普及や町民の資料収集などに不可欠である			達成度	効果度	総合評価	
有効性	町民の読書や資料収集の場になっており、有効性は高い			B	A	B	
費用対効果	貸出冊数は増加傾向で、図書購入費は減少しており、効果は大である			(理由・説明) 貸出冊数は年々増加している。 ただし、登録者が人口の約1/3程度であり、より多くの町民に利用してもらえるよう、情報提供や周知を図っていく			
方向性	今後も継続して実施						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	現在約42,600点の図書等を蔵書している。貸出し数も年々増加しているが、利用者の固定化や年齢層の偏りがあるため、幅広い町民の利用ができる環境や情報提供、周知などが必要である。 学校図書室と図書館の所蔵図書のデータが共有されていない						
	改 善 策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期（季節）にあった特設コーナーの設置やホームページ等の活用し、様々な情報提供を行い、利用しやすい図書館にしていく</li> <li>・読書の普及に努め、読書人口を増やす取組みを行う</li> </ul>						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	6 図書館運営	細項目	② ブックスタート			
目的	すべての赤ちゃんと保護者に家庭での絵本に触れるきっかけづくりを目的に7か月児健康相談時に実施			推進目標	すべての赤ちゃんと保護者に家庭での絵本を読むきっかけをつくる	
概要	健康相談を受けにきた親子1組に対し読み聞かせをする 絵本のリスト(赤ちゃん絵本の紹介)及び図書館利用の案内を配布 月1回、第4水曜日開催 9:15~11:00で、読み聞かせ会「ムーミン」の会より、 2人の支援を受けている 7か月児健康相談時 延べ106人			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位:千円)	平成16年	継続
				予算額	決算額	差引
				24	22	2
検 証 内 容				評 価		
必要性	赤ちゃんが家庭での絵本に接する時間づくりのきっかけをつくる事業であり、情緒性も育める			達成度	効果度	総合評価
有効性	絵本の持つ素晴らしさを読み聞かせを通じて伝え、絵本に興味をもってもらえ有効性が高い			B	A	B
費用対効果	必要最小限の経費で行っており、本に興味をもってもらうきっかけにつながっている			(理由・説明) 図書館の利用案内や読み聞かせの意義を伝えることにより、図書館の利用につながり、読み聞かせにつながっている		
方向性	今後も継続する必要がある					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談会場の一部が読み聞かせコーナーとなっているが、健康相談が優先されることもあり、保護者とその子ども全てに読み聞かせの意義を伝えられないこともある</li> <li>自宅でも読めるよう絵本の配布も必要である</li> <li>妊婦期から読み聞かせの意義を伝えることも必要である</li> </ul>					
	改 善 策					
<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせコーナーに上手く誘導できるよう工夫をする</li> <li>絵本の配布の検討や図書館に絵本を借りに来てもらえるような工夫をする</li> <li>妊婦期や出生時に読み聞かせの意義を伝える取組を行う</li> </ul>						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	6 図書館運営	細項目	③ 読み聞かせ会	推進目標	すべて家庭で子どもが自ら本を読むきっかけをつくる		
目的	幼児や児童とその保護者に対し家庭で自ら本を読むきっかけをつくる						
概要	読み聞かせ（保育所・幼稚園・子育てセンター・小学校・図書館） 保育所・幼稚園・子育てセンター 述べ71回 述べ2,350人 小学校（上小・西小・江幌小）述べ110回 述べ3,367人 ※読み聞かせ会「ムーミン」及びものがたり文化の会で実施 図書館 2回 延33人 ※旭川大学女子短期大学部学生			事業年度	開始 平成18年	終了 継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額 12	決算額 9	差引 3
検 証 内 容				評 価			
必要性	読み聞かせを通じて、幼児や児童に対し読書の習慣を身につけ、読書の関心を高め、読書意欲の向上と情緒性を育む環境を推進する必要がある			達成度	効果度	総合評価	
有効性	参加する幼児や児童が増え、関心が高まっており、有効性が高い			B	A	B	
費用対効果	ボランティア及び職員で行っており、経費をかけず実施しているため、費用対効果は高い			(理由・説明) 読み聞かせを通じて、なかなか集中できない子どもがいたが、回数を重ねるうちに集中できるようになり、本に興味をもつことができています			
方向性	今後も継続する必要がある						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの人数が少ないことや育成が十分でない</li> <li>・全ての学校で読み聞かせが実施できていない</li> </ul>						
	改 善 策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの育成のため、活動の内容を住民周知し活動人数を増やす</li> <li>・ボランティアや住民向けに読み聞かせの講習会の開催を検討する</li> <li>・全ての学校で読み聞かせが実施できるように調整する</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	6 図書館運営	細項目	④ 読書コンクール			
目的	町民の生涯学習の一環として読書に親しみ、その感動を表現すると共に読書普及活動の推進を図る。			推進目標	読書コンクールを通じて、読書普及活動の推進を図る	
概要	秋の読書週間にちなみ、9月1日～9月30日の募集期間を設け、募集期間に応募のあった作品を審査し、表彰を行い、文集を作成している。 また、感想画については、入選した作品を文化祭等に展示している。 応募数 感想文 126点（入選34点） 感想画 321点（入選33点）			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位：千円)	昭和50年	継続
				予算額	決算額	差引
				42	36	6
検 証 内 容				評 価		
必要性	読書感想文・感想画コンクールを通して、読書普及活動につながっている			達成度	効果度	総合評価
有効性	多くの児童生徒がコンクールに参加しており、有効性が高い			B	A	B
費用対効果	経費は最小限であり、費用対効果は高い			(理由・説明) 高校生・一般の応募はほとんど無いが、多くの児童・生徒がコンクールに募集している		
方向性	今後も継続する必要がある					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	現在は、主に小学校・中学校の応募になっており、高校生や一般町民の募集はほとんど無い状況にあるが、読書感想文・感想画コンクールを通じて、読書をする機会やきっかけになっており、今後も引き続き行っていく必要がある。					
	改 善 策					
高校生や一般町民の募集が少ないため、広報誌、ホームページなどあらゆる媒体を使って幅広く周知を図る						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	6 図書館運営	細項目	⑤ 学校図書室所蔵図書データ化	推進目標	学校に所蔵している図書のデータ化を図り、貸出し作業の効率化や図書館と学校の図書データの共有化を図られる			
目的	学校図書室の図書データ化することにより、貸出し作業の効率化を図り、合せて図書館・各学校の図書データを結び、相互の貸出しや図書データの共有化を図る							
概要	町内各小中学校（全6校）の図書室に所蔵している図書をデータ化（電算化）する。 データ化図書冊数内訳（合計 36,077 冊） 上小 8,211 冊 江幌小 2,522 冊 西小 7,076 冊 上中 9,792 冊 東中小 3,460 冊 東中中 5,046 冊			事業年度	開始	終了		
					平成21年	平成21年		
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引	
					4,549	4,549	0	
検 証 内 容				評 価				
必要性	図書の貸出しの利便性が図られ、各学校で所蔵している図書がわかり、相互で貸出しできることにより、図書の有効活用ができる			達成度	効果度	総合評価		
有効性	学校間で図書の情報が共有され、また、合せて図書館との図書情報が共有化される			B	A	B		
費用対効果	緊急雇用創出事業により、国の補助により実施（10/10） 学校と図書館の図書情報の共有化が図られ、図書貸出しや図書購入などの効率化が図られており、費用効果は高い			(理由・説明) 学校図書室に所蔵している図書データの一元管理でき、合せて各学校間で図書データが共有できるようになり、効率的な図書の貸出しや購入が図られた				
方向性	今後も新規で購入する図書についてはデータ化する必要がある							
今後の取組み	今 後 の 課 題							
	・各学校で電算化した図書データの更なる有効的な活用方法を検討する。（町民への情報交換や各学校で読書傾向の分析の活用など）							
	改 善 策							
	・学校と図書システムの活用方法について、協議する							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	7 文化財歴史の保存・活用	細項目	① 指定文化財保護	推進目標	町にとって重要な文化財の適切な保存や活用を図る		
目的	北海道文化財保護条例の規定による指定を受けた文化財以外の文化財で上富良野町の区域内に存するもののうち、町にとって重要なものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって町民の文化的向上に資すること						
概要	現在、町文化財として3か所の保存・管理を行っている 「憩いの楡」 西3線北29号 管理：町 「富原地区地神及び山の神」 東7線北24号 管理：富原住民会へ委託 「東中尋常高等小学校御真影奉置所」 東8線北18号 八幡神社境内 管理：町文化財保護委員会を設置し、文化財指定や管理についての会議を開催している。町に37か所ある、埋蔵文化財包蔵地の管理を行っている（表示板更新 H21）			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	昭和47年	継続	
					予算額	決算額	差引
					465	428	37
検証内容				評価			
必要性	町にとって重要な文化財を保存・活用することは上富良野の歴史を知る上で必要である			達成度	効果度	総合評価	
有効性	重要な文化財を保存・活用する事で上富良野の歴史が学べ、有効性が高い			B	A	B	
費用対効果	最小限の費用で保存しており、費用効果は高い			(理由・説明) 現在、3か所の指定文化財があり、定期的に状態を確認している また、埋蔵文化財包蔵地37か所の管理を行う			
方向性	今後も継続する必要がある						
今後の取組み	今後の課題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財も老朽化しており、「憩いの楡」については、見学場所までの歩道が整備されていない</li> <li>「東中尋常高等小学校御真影奉置所」について、屋根や外壁の塗装の痛みがある</li> </ul>						
	改善策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>「憩いの楡」の歩道整備を進める</li> <li>「東中尋常高等小学校御真影奉置所」の塗装を行う</li> </ul>							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	7 文化財歴史の保存・活用	細項目	② 郷土をさぐる会補助	推進目標	郷土の文化、歴史の保存と記録整備活動及び指導者育成を支援する		
目的	上富良野町郷土史の調査・研究により、郷土文化の向上と社会教育の充実発展に資すること						
概要	町の歴史の調査・研究し、郷土史を発刊（年1回） 町内・町外研修を実施し、上富良野町の歴史資料の収集の研究			事業年度	開始	終了	
					昭和55年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
					45	45	0
検 証 内 容				評 価			
必要性	町内唯一の郷土を研究する団体であり、上富良野町の歴史資料の収集や歴史を伝えており、必要性が高い			達成度	効果度	総合評価	
有効性	町の歴史の調査・研究を長年行い、郷土史を作成することで、後世に歴史を伝えるために有効性が高い			B	B	B	
費用対効果	小額の助成で町の歴史資料を収集や研究をしており、費用効果は高い			(理由・説明) 町の歴史の調査・研究を26年間行い、郷土史を発刊している。			
方向性	今後も継続する必要がある						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員の高齢化や賛助会員の減少により、会の運営が厳しい状況にある</li> <li>・ 事務局が現在郷土館にあり、事務量が多く郷土館の運営に支障がある</li> </ul>						
	改 善 策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土をさぐる会の活動を幅広く周知し、会員・賛助会員の拡大を図る</li> <li>・ 郷土をさぐる会の会員で主体的に運営してもらえよう、協議を進める</li> </ul>						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	8 スポーツ振興	細項目	① スポーツ団体（体協）補助	推進目標	上富良野町内のスポーツ団体を総括し、本町のスポーツ振興とスポーツ精神の普及を図り、町民の健康づくりと明るいまちづくりに寄与することを目標としている。		
目的	上富良野町のスポーツ団体の組織運営や研修等を円滑に推進し、町のスポーツ競技力向上や発展を図りながら、スポーツ振興を図ることを目的とする。						
概要	各加盟団体の事業に関して協力、援助を行い、北海道体育協会、富良野圏スポーツセンター協議会との連絡調整を行なっている。 町内のスポーツ指導者との懇談会を開催し、スポーツ指導者の育成に努めている。 加盟団体 20団体 会員数 2,084名			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				620	620	0	
検 証 内 容				評 価			
必要性	町内のスポーツ団体を総括し、指導者の育成、加盟団体の事業に関する協力を行なうなどの活動をしており、今後もその必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	町のスポーツ発展に効果は大である。			C	C	B	
費用対効果	町からの補助金と自主事業収入で運営を行なっており、加盟団体への補助、スポーツ教室の開催の支援など、限られた予算の中での効果は大きい。			(理由・説明) 町のスポーツ競技力向上や発展を図りながら、スポーツ振興を図っている。			
方向性	町のスポーツ振興への効果が大きいため、今後も支援（補助）を行なっていく						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	スポーツ指導者の育成・発掘への支援						
	改 善 策						
指導者の育成に関して、各加盟団体への協力、助成（研修会、講習会及び資格取得等）を行っていくことが必要							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	8 スポーツ振興	細項目	② 各種スポーツ大会参加補助				
目的	スポーツ振興法の趣旨にのっとり、スポーツ団体及び個人のスポーツ活動を助長するための助成に関して必要な事項を定め、もって本町におけるスポーツの振興に資することを目的とする。			推進目標	本補助事業により、本町のスポーツ大会の支援及び選手派遣助成を行なう。		
概要	上富良野町スポーツ大会選手派遣事業 195,000円（補助件数 団体2件 個人23件） スポーツ大会補助 0件			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
			195	195		0	
検証内容				評価			
必要性	青少年のスポーツ活動、大会選手派遣において、今後も補助は必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	青少年のスポーツ大会参加への有効性は大きいと思われる。			B	B	B	
費用対効果	各スポーツ団体への費用対効果は大である。			(理由・説明) 団体及び個人のスポーツ活動を助長するための助成であり効果は大と考える。			
方向性	今後も支援を続けていく。						
今後の取組み	今後の課題						
	青少年スポーツ振興のための指導者の養成						
	改善策						
	各スポーツ団体と指導者養成などの協議を行い、今後も町の青少年スポーツ振興のために支援を継続していく。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	8 スポーツ振興	細項目	③ スポーツ教室の開催	推進目標	町民の健康増進、スポーツ活動の普及及びスポーツ競技力の向上を目標とする。		
目的	各世代に応じたスポーツ教室を開催し、スポーツ活動の推進、競技力向上を図る。						
概要	スポーツ教室を開催することにより、愛好者の拡大や初心者育成を図ることや、競技者間の親睦を深めるなどの効果がある。 平成21年度実績 インドアゴルフ教室 39名参加 ゲートボール初心者教室 3日間開催 24名参加 フロアカーリング教室 74名参加			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	100	60	
検証内容				評価			
必要性	町内各スポーツ団体が自主的に行なうものであり、今後も続けていく必要はある。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	スポーツ教室を通して、愛好者の拡大、町内スポーツの発展など有効性は大きい。			C	C	B	
費用対効果	本事業は総体事業の60%を補助しており、総体事業費から考慮すると費用対効果は大きいと思われる。			(理由・説明) 地域住民のスポーツ活動を積極的に進める			
方向性	今後も地域住民のスポーツ活動を積極的に進めるため、今後も補助を行なっていく。						
今後の取組み	今後の課題						
	教室を行なうスポーツ団体が固定化されている。						
	改善策						
体育協会を通じて、各種団体が本補助を活用し、積極的にスポーツ教室の開催を行なっていくよう支援する。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	8 スポーツ振興	細項目	④ スポーツ普及活動				
目的	生涯に渡り、スポーツを楽しむ環境づくりのために、町民ふれあいスポーツ大会の実施や体育指導委員活動での直接指導を行い、生涯スポーツ普及活動を行っている。			推進目標	生涯に渡り、スポーツをすることのできる環境づくり（各種大会、教室）を進めていく。		
概要	体育指導委員活動としては、年6回以上の会議の開催や町民に対して直接スポーツ指導を行ったり、町民のためのニュースポーツの普及・研究などの活動を行なっている。また、町民ふれあいスポーツ大会の実施などを行い、町民が気軽に楽しめる生涯スポーツの実現を目指す活動を行ってきた。 町民ふれあいスポーツ大会実行委員会負担金 400,000円			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	2, 114	1, 656	458
検 証 内 容				評 価			
必要性	町民に直接スポーツ指導を行ったり、スポーツ関連事業の企画・立案など、今後もその必要性は大いにある。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	ニュースポーツを主としたスポーツ大会実施など、町民が気軽に参加できる大会の実施など、体育指導委員やふれあいスポーツ大会などの有効性は大きい。			B	B	B	
費用対効果	体育指導委員としては、報酬・各種会議の費用弁償の支出が主であり、ふれあいスポーツ大会などは関係する競技団体の協力により大会費用の縮減に努めていることなど、現予算での費用対効果は大きいと思われる。			(理由・説明) ニュースポーツを主としたスポーツ大会実施など、町民が気軽に参加できる大会などを実施し、スポーツ普及活動を図る。			
方向性	今後も社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を持ち、熱意と能力を持つ者の中から、体育指導委員を委嘱するものとする。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	ニュースポーツの研究、企画など今後の新しい取り組みが必要になってくる。 町民ふれあいスポーツ大会について、体育指導委員や各スポーツ団体との連携（大会準備、運営）が必要。						
	改 善 策						
各種会議や講習会などに参加し、体育指導委員のスポーツに関する研鑽やニュースポーツの普及を行なっていく。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	8 スポーツ振興	細項目	⑤ 総合型地域スポーツクラブ運営支援			
目的	町民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツに参加できる総合型地域スポーツクラブ「かみふらのスポーツクラブ」の運営、活動の支援を行い、町のスポーツ振興を図る。			推進目標	生涯にわたってスポーツを楽しむことができる「場」を地域につくり、定着させることにあり、そのクラブを通じて生涯スポーツ社会の創出に貢献する。	
概要	「かみふらのスポーツクラブ」の運営や活動に伴う支援をおこなっていく。 例) 会場使用料の減免 用具の無料貸出 クラブハウスができるまでの連絡先を教育委員会が窓口になる			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額
				平成21年度	無	無
検 証 内 容				評 価		
必要性	これからのスポーツ振興は、行政による画一的なものではなく、地域が一体となってスポーツの自立したシステムを創り出す総合型地域スポーツクラブが必要である。			達成度	効果度	総合評価
有効性	地域住民が自発的に中心となってクラブを運営していくことにより、地域に根ざした個性豊かなクラブが作り出せる。			C	C	B
費用対効果	会員が応益分の負担をすることにより、行政の負担は少ない。			(理由・説明) 町民自らがスポーツ振興に取り組むクラブを今後も支援していく。		
方向性	平成21年にクラブが立ち上がったばかりであり、クラブが自主財源により自立するまで、運営の支援をおこなっていく。					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	クラブ会員の確保及び自主財源の確保 クラブマネージャー、アシスタントマネージャーの育成。					
	改 善 策					
	随時会員を募集しており、今後は様々なイベントをおこなって、会員を増やしていく諸対策を支援する。 会員の募集方法や広報活動を積極的に支援していく。					

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	① 各公民館分館管理運営	推進目標	地域住民の活動拠点として各分館を整備し、生涯学習を推進する。		
目的	社会教育法に基づき、一定区域内の住民を対象とし、生活にかかる教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上と、健康増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
概要	1. 公民館分館の管理運営及び施設管理 (11 分館 4,855 千円) 2. 公民館各分館活動事業 (11 分館 1,112 千円)			事業年度	開始	終了	
					昭和 48 年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				6, 0 1 2	5, 9 6 7	4 5	
検 証 内 容				評 価			
必要性	地域住民の生涯学習の推進と地域コミュニティの持続のためには必要不可欠である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	地域活動の拠点として施設を利用するとともに、住民相互の親睦・交流と生涯学習の推進に大きな効果が得られている。			B	B	B	
費用対効果	町からの委託契約及び補助金等と住民会負担金等で管理運営されている。地域住民活動の効果は大である。			(理由・説明) 地域の住民による分館活動に大きく寄与しており、今後も継続していくことが必要			
方向性	地域の住民による分館活動に大きく寄与しており、今後も継続していくことが必要						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	各分館の管理について、委託契約と施設維持補助に分かれている。また、分館活動の子ども会・青年・婦人・老人会等活動が住民会活動と重複している。						
	改 善 策						
	各分館の施設維持管理は地域住民会に委託として統一し、将来指定管理者への移行を検証する。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する



平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	7 文化財歴史の保存・活用	細項目	② 開拓記念館外壁塗装	推進目標	長期間使用ができるよう、適切な施設管理を行う		
目的	平成9年度に設置した「開拓記念館」を適切に管理する						
概要	開拓記念館の外壁塗装（防腐剤塗装） 工事期間 5月1日から5月31日まで 塗装面積 140㎡			事業年度	開始	終了	
					平成21年	継続	
				事業費	予算額	決算額	差引
				(単位：千円)	650	588	62
検 証 内 容				評 価			
必要性	開拓記念館は復興の父である吉田貞次郎村長の自宅を一部移設しており、歴史的価値もあるため、管理の必要性は高い			達成度	効果度	総合評価	
有効性	定期的な外壁塗装（防腐剤塗装）により、長期間の施設維持ができる			A	A	A	
費用対効果	外壁が長期間保護できるため、費用対効果は高い			(理由・説明) 外壁に防腐剤塗装することで、長期間の外壁が保護できる			
方向性	今後も継続する必要がある						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	・施設維持管理のため定期的な塗装が必要である						
	改 善 策						
	・実施計画を作成し、年次的に塗装を行っていく						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	③ 公民館管理運営	推進目標	文化団体や教育団体などの団体が円滑に利用できるようにする		
目的	実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を円滑に行えるよう施設運営を図る						
概要	文化団体や教育団体など町民の教育、学術および文化に関する各種の事業実施に伴う公民館の運営 定期利用団体 30 団体 延べ利用者数 26,266 人 延べ利用件数 1,592 件 利用料 1,193,005 円			事業年度	開始	終了	
					昭和46年	継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
					14,362	13,999	363
検証内容				評価			
必要性	住民会、文化団体や教育団体など多くの町民が利用しており、必要性は高い			達成度	効果度	総合評価	
有効性	文化団体や教育団体など多くの町民の活動の場、地域の会館や避難所の役割もあり、施設の有効性は高い			B	B	B	
費用対効果	老朽化で施設の維持経費が年々増加しているが、利用者・利用料とも伸びており、また、地域の会館や避難所の役割もあり、費用対効果は高い			(理由・説明) 多くの住民や文化・教育団体の利用があり、利用率は高い。より利用しやすい環境の整備を図る			
方向性	今後も継続する必要がある						
今後の取組み	今後の課題						
	・施設の老朽化（S46建設）に伴う、施設及び備品の補修（更新）が必要である						
	改善策						
	・実施計画を作成し、年次的に補修（更新）を行っていく						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	④ 社会教育総合センター管理運営	推進目標	上富良野町の社会教育の拠点として誰もが使いやすい施設の維持管理に努めていく。		
目的	町民の社会教育活動の拠点として、適切に維持管理を行なう。						
概要	センターの維持管理（警備、清掃） センターの施設修繕、敷地内緑地の維持管理、整備			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	
				23,586	22,883	703	
検 証 内 容				評 価			
必要性	適切な施設の維持管理は必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	建設後20年が経過しているが、大規模な修繕はなく、概ね良好な状態になっている。			B	B	B	
費用対効果	大規模な修繕に対しては、計画性を持って行なうなど、費用対効果を考えながら施設の維持管理を行なっている。			(理由・説明) 町民の社会教育活動の拠点として、適切に維持管理を行なう			
方向性	今後も年次計画に基づき、適時に施設の修理、補修など維持管理を行なっていく。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	施設建設後、施設の経年による老朽化、近年の社会情勢の変化によるユニバーサル・デザインへの対応など、リニューアルが必要になってきている。 指定管理者への施設運営管理の検討。						
	改 善 策						
施設を利用する誰もが使いやすく、利用しやすい施設とするために、各関係機関や団体などと協議を行い、年次計画に基づき施設のリニューアルを行なっていく。 指定管理者制度導入に向けて、関係団体や庁内指定管理者選考委員会との協議を行っていく。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成21年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	⑤ B&Gプール管理運営	推進目標	B & G海洋センターの利用により、町民が水に親しみ慣れ、水中のスポーツレクリエーション振興を推進する。		
目的	B & G財団から譲渡された海洋センターを利用して、町民が水に親しみ慣れることを目的とし、そのために適切な施設管理を行なっていく。						
概要	子ども水泳教室 8日間開催 延べ 155名 親子水泳教室 6日間開催 延べ 100名 B & G水泳検定 5回開催 延べ 166名参加 B & G水泳記録会 26名参加 B & G海洋センター管理委託料（監視・清掃他） 5,037,900円 需用費 2,390,018円（消299,032 燃1,004,669 光1,059,230 修27,087） 北海道B & G海洋センター連絡協議会負担金 30,000円 その他 283,864円			事業年度	開始	終了	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				8,178	7,742	436	
検 証 内 容				評 価			
必要性	町の水泳用プールとして、その必要性は大きい。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	水泳スポーツ少年団活動や水泳連盟など子どもの水泳教室など、水泳スポーツ振興に大きな役割を成している。			B	B	B	
費用対効果	本事業に関する費用対効果は大きいと思われる。			(理由・説明) 水泳スポーツ振興に大きな役割を成している			
方向性	今後も海洋センターの維持管理や水泳スポーツへの支援などを行なっていく。また、B & G主催の会議、研修会などに参加していく。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	水泳指導者（B & Gアクアインストラクター）の養成が急務になっている。（水泳教室の指導者、水泳検定員の高齢化） B & G海洋センターの指定管理者制度の導入の検討						
	改 善 策						
指導者の育成を含めて、指定管理者制度の導入について検討をしていく。							

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成 21 年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	⑥ パークゴルフ場管理運営				
目的	ニュースポーツであるパークゴルフを町民への普及を図る。また、上富良野町パークゴルフ場の管理を指定管理者制度の導入により、町民が利用しやすい施設として管理を行なっていく。			推進目標	ニュースポーツとして、パークゴルフの普及を図り、もって町民の健康増進に寄与する。		
概要	指定管理者委託料 4,100,000 円 役務費 32,985 円 年間利用者数 30,543 人 (前年 32,222 人)			事業年度	開始	終了	
						継続	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
				4,133	4,133	0	
検 証 内 容				評 価			
必要性	パークゴルフ愛好者が年々増加傾向にあり、施設の適切な維持管理は必要である。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	パークゴルフ愛好者の施設として、その有効性は大きい。			B	A	B	
費用対効果	指定管理者制度の導入により、管理運営会社が適切な運営管理を行なっていることなどから、その費用対効果は大きい。			(理由・説明) 今後も指定管理者制度により適切な施設の維持管理を行なっていく			
方向性	今後も指定管理者制度により適切な施設の維持管理を行なっていく。						
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	施設の経年劣化による維持修繕（年次計画の作成）。 協会など愛好者からの 36H 増設の要望がある。						
	改 善 策						
	施設維持のために、今後は年次計画を作成して、施設の適切な維持管理に努めていく。 36H 増設の要望に対しては、教育委員会の考え方を関係者に十二分に説明し理解を得る。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成22年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	⑦ 社会教育総合センターボイラー更新	推進目標	施設の良好な温度保持に努める。		
目的	経年劣化した暖房及び給湯ボイラーを更新し、施設内の良好な温度保持に努めることを目的とする。						
概要	真空式温水ボイラー（給湯・暖房） 400,000kcal/h 電動三方弁取替・自動制御装置取替・煙道一部改修			事業年度	開始	終了	
					H21	H21	
				事業費 (単位：千円)	予算額	決算額	差引
					10,000	9,870	130
検 証 内 容				評 価			
必要性	ボイラー設置（建設）後、22年が経過しており、耐用年数は経過している。平成20年に制御盤が故障して、部品がなく中古品で代用していたため、更新は急務であった。			達成度	効果度	総合評価	
有効性	冬期間の温度保持には有効である。			A	A	A	
費用対効果	ボイラーの必要負荷の出力計算をおこない、暖房時期朝の立ち上がり時に給湯負荷ことを前提として、必要負荷から既存負荷（No.2 ボイラー）を差引し、必要熱量の計算をおこなった結果により、温水ボイラーを決定した。制御盤も更新したことにより、適正な温度保持管理ができることが想定されるため、費用対効果は大きいと思われる。			(理由・説明)			
方向性							
今後の取組み	今 後 の 課 題						
	燃料費の縮減に努めた適切な管理。 定期的なメンテナンスが必要。						
	改 善 策						
	今後は省エネルギーに努めた管理を行っていく。 毎年、メンテナンスを実施していく。						

評価基準(達成度・効果度) A：実践が進み成果を上げている B：実践が進んでいる C：実践に努めている D：努力を要する

平成22年度 上富良野町教育行政点検評価表

担当班名 社会教育班

評価項目	9 社会教育施設の管理	細項目	⑧ 富原運動公園グラウンド芝生改修			
目的	本施設は、平成7年に完成し、サッカー愛好者、中学校部活動、サッカー少年団などが利用していた。しかし、経年による芝生の損傷が著しいため、本事業を実施し、グラウンドの芝生を改修し、町民が様々なスポーツに親しめるよう環境整備を行なう事を目的とする。			推進目標	運動公園の芝生を改修し、町民がスポーツに親しみ、健康で心豊かになることを推進目標とする。	
概要	運動公園芝生化工事 A=11,592㎡ 事業費 24,165,940円(うち付帯事務費 26,200円) 芝生の種類 ケンタッキーブルーグラス クリーピングレッドフェスク・トールフェスクアリッドⅢ			事業年度	開始	終了
				事業費 (単位:千円)	予算額	決算額
				H21	H21	
				24,387	24,177	210
検 証 内 容				評 価		
必要性	既存のグラウンドの芝生は損傷が激しく、スポーツの最中に怪我をする恐れがあるため、改修事業は必要であった。			達成度	効果度	総合評価
有効性				A	A	A
費用対効果	グラウンドの芝生は耕起・鎮圧により廃棄物を出さずに工事を行い、土壌改良により表土などを使用せずに工事をおこなったことなど、工費の縮減に努め、費用対効果は大きいと思われる。また、独)日本スポーツ振興センターの助成金(75%助成)などがあり、一般財源の支出を抑えることができた。			(理由・説明) 事業費 工事費 24,150,000円(24,165,940円) 付帯事務費 26,200円 助成金額 18,124,000円 一般財源 6,067,200円		
方向性	今後は、芝生の適正な管理を行ない、各種大会や教室などが開催されることにより、スポーツの愛好者が増えるよう事業を推進していく。(スポーツ団体の支援)					
今後の取組み	今 後 の 課 題					
	適正な芝生の管理を行なうために、専門業者への委託 過剰なグラウンドの使用(中学校部活など)の抑制					
	改 善 策					
年間の芝生の管理を試算し、専門業者への委託が妥当か検討をおこなっていく。 グラウンドの利用が過剰にならないよう、利用調整をおこなっていく。						

評価基準(達成度・効果度) A:実践が進み成果を上げている B:実践が進んでいる C:実践に努めている D:努力を要する

## IV 教育行政評価委員の意見

### 1 教育行政評価委員会の意見書作成にあたり

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条第 2 項の定めにより、教育委員会から提出を受けた資料（評価項目 19 項目、56 細項目）について、事前に配布された報告書（案）を検討し、平成 22 年 8 月 26 日に行われた教育委員会との意見交換を基に意見を述べさせていただきます。

本件の『教育委員会点検・評価報告書』の作成に関して、上富良野町教育行政執行方針に基づき、適切に整理区分し点検評価表にまとめられておりました。各委員からは平成 21 年度の事務事業については、当初の目標どおり執行されており、総体的に評価できるとの総評でありました。

このことは、上富良野町教育委員会と町長部局及び町議会との連携・協力体制が構築されており、効果的に機能していると感じました。以下、報告書にある分野別毎の点検・評価結果に基づいて意見を述べさせていただきます。

### 2 点検・評価報告書に基づいた意見

#### (1) 教育委員会の活動状況

適切に機能し、活動していると考えます。

#### (2) 学校教育について

教育委員会に課せられた最大の職務は、学校教育の充実にあります。家庭教育、就学前教育、地域社会との協力等幅広い状況下にあります。町内の小中学校においては教育委員会の指導により、教育目標・重点目標・研究主題・研究計画等の指針に則して積極的に学校経営を推進しており、併せて学校評価や外部評価を導入し、課題を明確にして、指導実践を行っており、事業が有効に機能していると考えられる。

今後、全体の課題として、少子化の中での学校の適正配置や学校規模の適正化、義務教育における学力・体力・学習状況の把握と課題整理、効果的な教職員研修のあり方等各機関及び関係者と一致協力し改善に努められるとともに、環境整備についても全体計画の中で、適切に事業が行われることを期待しております。

#### (3) 社会教育について

教育委員会の社会教育に求められるものは、個人の要求に応えることでなく、町全体として必要と考えられる学習内容に関する企画立案、各種団体育成であり、事業内容も深く関連しており、適切に機能していると考えます。環境整備については、町づくりの一環でもあることから、今後とも全体の計画の中で、適切に事業が行われるよう期待しております。



#### (4) 今後に向けての講評

教育は、特に政治的、宗教的に中立の立場にあり、個人の恣意的な価値判断に左右されることなく、常に安定性と継続性がもとめられております。教育委員会は独立した行政機関として委員の合議により、基本施策を選定し、具体的な事務については教育長が事務局を指揮監督して執行運営しております。

近年、地球規模で社会情勢が急激に変化する中で、子どもを取り巻く生活環境の変化も著しく、また複雑化しています。新たな課題に向き合う際、結果に対する速やかな処理と対応が必要なことは言うまでもありませんが、教育委員会として日頃の教育環境の状況把握に努めるための活発な議論を期待するものであります。

しかしながら、教育委員会の関係範囲が広いことから、時々テーマを絞って、それらの討議を通して、各委員が上富良野町の教育の基本理念を確認し共有する必要性を痛感いたします。

## 資料1

### 上富良野町教育委員会教育行政評価委員会要綱

#### (設置)

第1条 上富良野町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する行政評価の透明性を確保するとともに、簡素で効率的な教育行政の推進について、教育に関し学識を有する者の知見を活用するため、上富良野町教育委員会教育行政評価委員会（以下「委員会」という）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 委員会は、教育委員会が実施した事務事業の点検及び評価について、教育委員会に意見を述べることを所掌事務とする。

#### (構成)

第3条 委員会は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育長が委嘱する3名の委員をもって構成する。

#### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日の属する年度までとする。

#### (運営)

第5条 委員会には、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員会は、必要に応じて委員長が召集する。

4 委員会は、審議のために必要があるときは、関係者の出席を求め、意見を聴取するほか、資料の提出を求めることができる。

#### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局が行う。

#### 附 則

1 この要綱は平成21年4月1日から施行する。

2 最初の委員会は、第5条第3項の規定にかかわらず、教育長が召集する。

**資料 2**

**教育行政評価委員会**の構成

委員長 本田 邦 光  
副委員長 村 上 千恵子  
委 員 安 川 美音子

社会教育委員の会議 委員長  
町PTA連合会 会長  
町女性連絡協議会 会長

### 資料 3

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年 6 月 30 日法律第 162 号）

最終改正：平成 19 年 6 月 27 日法律第 98 号

改正内容：平成 19 年 6 月 27 日法律第 98 号（平成 14 年法律第 63 号への改正）〔平成 20 年 4 月 1 日〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 資料4

### 平成21年度 教育行政執行方針

平成21年第1回定例町議会の開会にあたり、上富良野町教育委員会の教育行政の執行にかかわる主要な方針について申し述べ、町議会をはじめ町民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

#### ■ はじめに

わが国においては、国際化・情報化・少子高齢化・経済不況・環境問題など、深刻化の度合いを深めている現状であります。

こうした中で、教育の分野におきましても、時代を切り拓くたくましい人材の育成が強く求められ、教育基本法の改正やそれを受けての学校教育法の改正、学習指導要領の改訂などが行われ、変革の時を迎えている状況にあります。

これまで以上に「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を三位一体とする「生きる力」の育成が求められております。

さらに、生涯学習の視点からも、取り巻く環境の変化に対応する力や社会で生きる実践的な力の育成が求められているところです。

これらを受け、教育委員会といたしましては、町の第5次総合計画に併せて策定した教育行政の指針となる「教育振興基本計画」を基として、家庭・地域・学校そして行政が共に連携し、実践および検証・改善に向かう体制をより強化し、次代を担う『人づくり』に取り組んでまいります。

様々な教育改革が進められている中、教育改革の方向や社会動向をしっかりと見据え、新しい時代の要請と町民の皆様の期待に応えるため、その使命と役割を認識し、学校教育、文化、スポーツの活動の振興と充実のため、町民の皆様のご理解とご支援をいただき、なお一層最善の努力を致してまいります。

#### ■ 学校教育の推進

学校教育においては、本年度から施行する「教育振興基本計画」における「学校教育基本方針」を念頭に置き、新学習指導要領の趣旨に従い、「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成」をスローガンとして、確かな学力と豊かな心、たくましい体を持つ子ども達の育成をめざしてまいります。

また、新学習指導要領の完全実施につきましては、小学校が平成23年度、中学校が平成24年度からとなっております。

その対応として、平成21年度から平成23年度までの間に各学校での全体計画を確立してまいります。

また、移行措置として、平成21年度から一部先行実施となる道徳や理科などへの対

応準備も行ってまいります。

さらに、平成23年度から小学校での新教科となる「外国語活動」についても、スムーズな実施をめざし今年度から諸準備を行い、平成22年度からは全小学校での先行実施を予定しているところであります。

全国統一学力・学習状況調査などの結果においては、当町の子ども達の学力や生活習慣は全国平均に近い状況ではありますが、課題は幾つも残されおります。課題の解決と更なる向上のために基礎基本の定着をより重視し、それを基にした応用力・活用力を身に付けさせる必要があると考えております。

また、わかりやすい授業の構築や学習時間・学習習慣・生活習慣の定着・向上などを、学校・家庭・地域の連携をさらに強化し取り組んでまいります。

そのため、当町の子ども達の状況を引き続き検証していく上で、4月21日実施予定の全国統一学力・学習状況調査を今年度も行うとともに、各学校において学力向上改善プランの確立や道徳教育の強化、体力の強化を図り、そのための新たな指導計画の作成や体力テストの実施などを推進してまいります。

また、開かれた学校づくりと信頼される学校づくりをめざし、外部評価の充実を図るとともに、教員評価や研修活動の充実を図り、学校教育の直接の担い手である教職員の資質能力の向上に努めてまいります。

さらに、本年度から「学習活動交付金」を予算化し、学校長の裁量の基に、新学習指導要領への対応や特色ある学校づくりなどに積極的に取り組んでまいります。

昨年度に設置した「学校教育アドバイザー」においても、その活用範囲の拡大を図り、教育振興の体制づくりを推進してまいります。

児童・生徒の指導等につきましては、いじめや不登校・問題行動などが依然としてあとをたたない社会状況にありますが、当町においては、学校・家庭・地域の努力と連携により、それらの事例は比較的少ない状況にあります。

しかしながら、それぞれの課題となる要素は存在していることから、問題の早期発見・早期対応を含め、子ども達の目線にたった教育相談体制の充実を努めます。

引き続き、上富良野中学校には「心の教育相談員」を配置し、生徒の悩みや相談の活動を通して問題行動の未然防止などに努めてまいります。

さらに、「学校教育アドバイザー」も活用し、学校との連携を強めながら問題解決にあたってまいります。

また、自然体験や社会体験活動などを通じたキャリア教育、環境教育、食に関する教育、さらには道徳教育の充実を図り、コミュニケーション能力の向上と自分や他を大切にす心およびその実践力を育ててまいります。

へき地・複式教育につきましては、地域の自然や文化を活用した豊富な体験活動や、一人一人に目が届きやすいという小規模校の最も大きな特性を基にした「個に応じた指導」により、学習や生活に確実な効果を上げているところであります。

各地域において、児童生徒の減少傾向は続いており、当町においても今後の大きな課題となりますが、教育の原点である「一人一人に応じた指導」・「一人一人を大切にしたい指導」の充実を図り、さらなる継続をめざしてまいります。

また、江幌小学校においては、特認校として地域と一体となった特色ある教育活動の推進に努めてまいります。

特別支援教育については、障がいのある子ども達一人一人の教育的ニーズに対応した指導を行い、今後に向けた自立や社会参加がさらに促進されるよう支援を行ってまいります。

個々のニーズに対応するには人的支援が重要であることから、上富良野小学校と上富良野西小学校に「特別支援教育指導助手」を継続して配置し、指導体制の充実を図ってまいります。

また、上富良野町特別支援教育連絡協議会をとおして関係者の連携や研修の機会を持ち、指導内容の充実と指導力の向上を図ってまいります。

学校の危機管理については、子どもを取り巻く悲惨な事件・事故があとを立ちません。当町においては、学校での日常の校内点検励行と教育委員会を含めた情報交換の機能を密にするとともに、住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」をはじめとする関係機関の協力のもと、地域総ぐるみで子ども達の安全確保に努めてまいります。

また、「上富良野の青少年健全育成をすすめる会」、北海道教育委員会が委嘱している「スクールガード」、「地域生活安全協会」などとの協力体制により、子ども達の事件・事故発生の予防に努めてまいります。

教育環境の整備につきまして、本年度は、上富良野中学校校舎と西小学校体育館耐震化調査事業、東中中学校の教育用コンピューターの更新と講堂の防音機能復旧工事、上富良野小学校・東中小学校・上富良野中学校機械室のアスベスト分析調査事業を主なるものとして計画しております。

また、上富良野小学校の校舎改築に向けては、昨年度実施した「耐力度調査」において基準値を満たしております。本年度においては「耐震化調査」を実施するなど多角的な対応を思索しながら、安全で安心な学校環境の確立をめざし、重要な懸案事項として今後も取り組んでまいります。

その他、各校の設備・備品及び教材教具などにおいては計画的に整備を進めてまいります。

学校給食につきましては、本年4月から「富良野広域連合組織」による運営がなされますが、「自賄い方式」による運営となることから、従来と同様に食の安全を第一に

考え、原材料などはできる限り地場産品を取り入れ、「安心」で「おいしい」給食の提供に努めてまいります。

また、食育の一貫として行っている「お弁当持参の日」は、家庭の協力・家庭の工夫など、親子の絆の一つにつながるものとして今後も継続してまいります。

さらに、栄養士による学校訪問も継続して実施し、食事の意味・栄養バランスの大切さ・食事のマナーなどの指導を、学校での学級指導などとの連携を得ながら充実を図ってまいります。

国際理解教育については、現在、姉妹友好都市でありますカナダ・アルバータ州カムローズ市から英語指導助手を迎えて、学校教育・社会教育の両面で小中学校の授業やサークル活動を通して国際理解教育の推進を図るとともに、上富良野町とカムローズ市との交流発展に努めているところであります。

さらに、新学習指導要領による、平成23年度から小学校5・6年生での新教科となる「外国語活動」にも有効な活用・活躍の場を計画しているところでもあります。

また、幼稚園・保育所への訪問や英会話教室などを利用し、幼児も含めて町民の皆様が国際理解の輪を広げていけるよう、今後も努めてまいります。

なお、現在の英語指導助手につきましては、本年7月までの任期となっておりますが、引き続きカムローズ市より後任者を迎え、これまでと同様の活動をしていただく予定であります。

道立上富良野高等学校の振興については、現在、間口に対しての生徒数の確保が年々難しくなっている状況が続き、北海道教育委員会の公立高等学校配置計画の内容からも存続を危ぶむ声が多方面から聞こえてくる現状であります。

地域に根ざした高校の存在は、子ども達や当町にとって大きな影響力をもっているものであります。

その上で、さらなる振興をめざして高校や関係各位の様々な努力をいただいているところではありますが、少子化の影響が大きく影を落としていることに、苦戦を強いられている状況ともなっております。

高校では、英語技能・危険物取扱者・簿記・情報処理などの検定や資格の取得に力を入れ、社会の即戦力となる指導努力がなされており、当町としても資格取得の受験料補助などを行い、就職や進学に有利な高校づくりを支援しているところです。

今後とも、さらに有効な特色を持ち、地元はもとより他市町村から多くの応募生徒が集まるよう、「上富良野高等学校教育振興会」及び「サポーターズクラブ」と連携した協力・援助を行ってまいります。



## ■ 社会教育の推進

社会教育の推進につきましては、公民館や図書館・スポーツ施設などの社会教育施設を活用しながら、町民一人一人が生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供することにより、社会教育基本方針に定める「豊かな心と健やかな体を育み、うるおいある地域づくりをめざす生涯学習の推進」をめざし、社会教育行政を進めてまいります。

平成20年度に策定された第7次社会教育中期計画により、家庭・学校・地域社会の持つ教育機能の充実や連携・融合を図る実践に努め、社会教育推進目標に掲げられている具体的方策の実現を進めてまいります。

家庭教育につきましては、家庭は子ども達が、生活に必要な基本的習慣を身に付け、調和のとれた心身を育む場であり、教育の原点であります。

親子の絆を深め健やかな子育てをめざし、家庭教育に関する学習機会や情報提供の充実を図り、家庭教育学級や子育てサークルなどの活動を支援してまいります。

また、毎月第3日曜日の「道民家庭の日」の啓発や普及促進を図り、家庭教育力の向上に努めてまいります。

青少年教育についてであります。次代を担う青少年のスポーツや文化活動の推進を図るため、子ども会やスポーツ少年団、青少年団体協議会などの自主活動を尊重し、引き続き支援・協力を行ってまいります。

今年度は、姉妹都市である三重県津市へ小学生を派遣し研修と見聞を広め、国内交流を目的とした青少年国内交流事業を進めてまいります。

また、学校の諸活動を支援する地域のボランティア活動となる「学校支援地域本部事業」を推進するとともに、青少年を対象に芸術鑑賞、各種学習活動などによる家庭を離れて食事づくりや清掃など様々な日常生活体験などを通じ、地域の大人たちとの交流の中から子ども達の生きる力と豊かな心の育成に努めてまいります。

次に、放課後プラン事業につきましては、本年度で3年目となり、保護者、学校、地域などに理解が深まり、子ども達の放課後の安全で安心な居場所づくり事業として運営されています。

地域の方々の協力を得ながら学校および保健福祉部局と連携を図り、上富良野の子ども達を健全に守り育てる事業として継続してまいります。

また、事業運営にあっては、子ども達を見守り育てる指導員の方々の協力が大きな支えでありますので、ボランティアを含めて協力していただける方の確保に努めてまいります。

成人・高齢者教育についてであります。成人の学習活動については、自主的なサークル活動への支援と、各種学習機会や女性学級の開設などに取り組んでまいります。

引き続き、高齢者を対象に「いしずえ大学」を開設し、健康で明るい生活を築きた

めの学ぶ機会を提供するとともに、生きがいづくりと社会参加の促進を図ってまいります。

また、大学生が自主的に運営する自治会活動の支援をしております。

さらに、成人者や高齢者の方々が培った知識や技能を、各種の学習活動・体験活動に生かし、伝えていただくなど積極的ななかかわりの中で、学びあい支えあう人づくり・まちづくりを進めてまいります。

文化芸術の振興につきましては、人々の心に安らぎと潤いをもたらすことから、優れた美術展覧会や音楽・舞台芸術の公演などを文化団体や愛好者と連携し、優れた芸術・芸能・文化に触れる機会の充実を図ってまいります。

また、町民の皆様が心の豊かさを求めて日常的に練習を行っている文化芸術の発表の場として、子どもから大人までを対象とした総合文化祭を開催するとともに、自主的な発表の機会を支援し、地域文化の継承と発展をめざしてまいります。

図書館の運営については、蔵書検索システムの導入を行い道立図書館や近隣図書館等との連携を深めるとともに、利用者の利便の向上を図ってまいります。

本年度は、国の緊急雇用創出事業により、上富良野小学校と上富良野中学校の学校図書で電算入力を実施し、図書館との蔵書の共有化を図ってまいります。

子ども達の読書の拡大を図るため、児童書の蔵書充実を図るとともに、本とのふれあい機会拡大のため、各小学校へ出向く移動図書活動を進めてまいります。

また、引き続き読み聞かせ活動など本を活かした学習活動を行い、町民の皆様が親しまれる図書館の運営をめざしてまいります。

スポーツ振興についてであります。町民の皆様の健康づくりをめざし、各種スポーツ大会の開催など参加機会の拡大を図り、生涯にわたってスポーツに親しめるよう取組を進めてまいります。

そのために、スポーツを安全に正しいルールに従って楽しく行ってもらうため、指導者の養成と人材の確保に努めてまいります。

また、総合型地域スポーツクラブについては、町民が、いつでもどこでもスポーツを楽しむことができるように、町体育協会をはじめ関係団体との連携のもと、「総合型地域スポーツクラブ」の設立と運営の支援を行ってまいります。

社会教育施設については、本年度は、開拓記念館外壁塗装、社会教育総合センターボイラー更新、富原運動公園グランド芝生改修等を行い施設の適切な維持を図ってまいります。

また、社会教育施設につきましては、それぞれの施設は建設から年数を経過していることから、適時に補修や修繕を行い施設の適切な維持管理に努めてまいります。

■ おわりに

以上、平成21年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げましたが、本町の教育・文化・スポーツの振興と生涯学習社会の構築に向けて最善の努力を傾けてまいります。

議員並びに町民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げまして、教育行政執行方針といたします。

平成21年3月12日

上富良野町教育委員会